

道徳教育・心の教育 研究指定校のテーマ等一覧

都道府県名	1 北海道	学校名	札幌市立 太平小学校	校長名	加藤 真一
学校所在地	〒002-8021 札幌市北区篠路1条2丁目6-20			電話番号	011-771-1131
最寄り駅	南北線 麻生駅 (バス 15分)			FAX番号	011-771-1673
指定の種類	区中教委	研究期間	平成30年度～30年度 1年間	研究発表日	平成30年10月25日
研究テーマ (サブテーマ)	確かな力を高める子の育成 ～思考の過程が見える授業づくりの工夫～				
研究の概要	本校では、授業を通して学んだ知識が生きて働く力となり、後々使える知識となって身に付いていく姿を目指して研究を進めている。道徳教育においては、よりよい生き方について多様な視点から話し合い、語り合う授業を通して、子どもが、自己の生き方についての考えをより深めていくようにする。その中で、仲間とかかわりながら学び、自分の考えを見直したり、再構築したりする子ども、常に自己の生き方を見つめ直そうとする子どもを育てたい。				

都道府県名	1 北海道	学校名	札幌市立 八軒西小学校	校長名	仲島 恵美
学校所在地	〒063-0843 札幌市西区八軒3条5丁目1番1号			電話番号	011-643-4352
最寄り駅	JR函館本線 琴似駅 (バス 10分)			FAX番号	011-643-0849
指定の種類	区中教委	研究期間	平成 30年度 1年間	研究発表日	平成 30年12月13日
研究テーマ (サブテーマ)	たくましく学ぶ子の育成～動く つながる 深まる授業～ 道徳部テーマ:自らの生き方を基に、対話を通して自己を見つめる子ども				
研究の概要	本校では、「たくましく学ぶ子」というテーマで実践を積み重ねている。道徳の授業においては、子どもがもつ見方・考え方を広げたり深めたりすることで、自己の生き方に目を向けるとともに、よりよい生き方を考えていく授業を目指している。授業では、「対となる構造」へと学びを集約したり、問い返すことで子どもの思考を深めたりすることを実践している。研究を通して、多様な生き方と出会い、自己の生き方を素直に見つめる子どもの姿を目指している。				

都道府県名	1 北海道	学校名	札幌市立 伏見小学校	校長名	松村 聡
学校所在地	〒064-0918 北海道札幌市中央区南18条西15丁目1番1号			電話番号	011-551-2771
最寄り駅	市電 ロープウェイ入口駅 (徒歩 3分)			FAX番号	011-551-6265
指定の種類	区中教委	研究期間	平成 30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月19日
研究テーマ (サブテーマ)	指導観を明確にした道徳授業の実践研究 道徳科の評価の在り方についての実践研究				
研究の概要	道徳科の学習を通して、子どもが自己を客観的・分析的に捉えたり、これまでの価値観を見つめ直したりして道徳的事象について多面的・多角的な見方・考え方が深まるよう発問を工夫し、板書を構成する。年間を通してワークシートを使用し、それを取りためることで大きくりなまとまりを意識した評価につながるよう校内研修を行う。授業実践においては、発問を工夫することで、子どもが自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることをねらう。それにより子どもは、道徳的価値観が形成され、自己の生き方についての考えを深めていく。そうして得た道徳的価値観を、違う側面から捉え直したり再認識して自覚したりすることで、道徳的価値観を磨いていく。教師は、それを大きくりなまとまりとして評価することができる。				

都道府県名	1 北海道	学校名	札幌市立 新光小学校	校長名	加藤 康之
学校所在地	〒001-0901 札幌市北区新琴似1条12丁目1番1号			電話番号	011-762-7990
最寄り駅	学園都市線 新川駅 (徒歩 25分)			FAX番号	011-762-2619
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成30年11月27日
研究テーマ (サブテーマ)	道徳的変容を求める学習の創造 ～児童が見方・考え方を広げ、道徳的価値の理解を深める学習展開の構想～				
研究の概要	<p>本校では、指導要領において評価の観点として示されている児童の道徳的変容(一面的な見方から多面的・多角的に発展させているか・道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか)の二点を意識して、道徳科の学習を構想することを大切にしている。</p> <p>また、そういった学習を構想する前提として、児童の学習意欲を引き出すような教材化の工夫や、見方・考え方を広げる関わり方など、児童が主体的に学ぶことができるような授業のあり方について、教職員一丸となって研究し、日々実践している。</p>				

都道府県名	1 北海道	学校名	札幌市立 円山小学校	校長名	齊藤 隆浩
学校所在地	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西25丁目			電話番号	011-631-3437
最寄り駅	地下鉄東西線 円山公園 駅 (徒歩 5分)			FAX番号	011-615-6593
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成 30年度 1年間	研究発表日	平成30年12月5日
研究テーマ (サブテーマ)	道徳的価値の理解を深め、心豊かな子の育成				
研究の概要	<p>子どもたちは、学んだことを日々の授業に生かせること、授業の中で自分の意見を言えることが楽しいと感じている。一方で考えることが当たり前だと考える児童もいる。自分事として課題に向き合っているとまでは至っていないと考える。</p> <p>以上のことから「道徳的価値について友達の見方や感じ方を知り、自らの考えを広げたり確かなものにしたたりする姿や、授業で深めた道徳的価値の大切さを理解し生活の中で実現させていこうとする姿を目指す。</p>				

都道府県名	3 岩手	学校名	盛岡市立 河北小学校	校長名	平井 良明
学校所在地	〒020-0062 岩手県盛岡市長田町16-1			電話番号	019-623-9244
最寄り駅	東北新幹線 盛岡駅 (徒歩 10分)			FAX番号	019-623-9245
指定の種類		研究期間	平成 4年度～	研究発表日	平成 30年 10月 24日
研究テーマ (サブテーマ)	思いやる心とたくましさを育てる道徳教育 (自己を見つめ、他者との関わりを深める指導の工夫)				
研究の概要	<p>道徳教育全体計画を作成し、「生命の尊さ」「希望と勇気、努力と強い意志」「親切・思いやり」「規則の尊重」を重点内容項目と定めて、6年間を見通した道徳科の授業改善(各学習段階における発問や場の設定の工夫、各教科等の特質を生かした意図的な授業展開の工夫)を通して、授業の質的向上を図っている。そして、学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、よりよく生きようとする力をどれだけ目覚めさせ、引き出したかを評価している。</p>				

都道府県名	4 宮城	学校名	松島町立 松島第一小学校	校長名	三品 隆
学校所在地	〒981-0213 宮城県宮城郡松島町松島字道珍浜10番地			電話番号	022-354-2384
最寄り駅	東北本線 松島駅 (徒歩 10分)			FAX番号	022-353-3464
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成 30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月19日
研究テーマ (サブテーマ)	自他と豊かにかかわり、生き生きと生活する児童の育成 (自分を見つめ直し、みんなで深め合う道徳の授業を通して)				
研究の概要	<p>他者との豊かなかかわりを通して、生き生きと生活する児童を育てるための道徳教育及びその要となる「特別の教科 道徳」の指導の在り方を探ることを研究の目標とする。</p> <p>研究を進めるにあって、2つの視点を設けている。1つめの「自分の思いや考えを書くための工夫」では特に道徳ノート指導の在り方について、2つめの「多様な意見や価値に触れみんなで考えを深め合うための工夫」では他者との意見交流の在り方について、授業実践を重ねながら検証していく。</p>				

都道府県名	4 宮城	学校名	大崎市立 古川第一小学校	校長名	千葉光弘
学校所在地	〒989-6152 宮城県大崎市古川二ノ構7-67			電話番号	0229-22-2072
最寄り駅	東北新幹線 古川駅 (バス・徒歩 20分)			FAX番号	0229-22-2082
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～30年度 3年間	研究発表日	平成30年11月22日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、主体的に判断する児童の育成 (道徳教育の充実につながる、学び合う道徳科の授業を通して)				
研究の概要	<p>道徳科研究三年目の今年度は、学び合う道徳科の授業作りを中心にしながら道徳教育の充実にも研究内容を広げて取り組んでいる。研究の視点は、道徳的価値について深く考えさせる中心発問と切り返しの発問を組み合わせた「発問構成の工夫」と、道徳科の授業とそれに関連する諸活動の学びを互いに生かす「道徳科の単元構想」の2つを設定している。また、道徳ノートや見取りシートも活用して児童の学習状況や成長の様子を評価する工夫をし、授業改善に取り組んでいる。</p>				

都道府県名	5 秋田	学校名	秋田市立 高清水小学校	校長名	工藤 絹子
学校所在地	〒011-0936 秋田市将軍野南一丁目2-16			電話番号	018-845-0831
最寄り駅	奥羽本線 土崎駅 (バス 10分)			FAX番号	018-847-1164
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成 30年度 1年間	研究発表日	平成31年2月5日
研究テーマ (サブテーマ)	心豊かに、よりよく生きようとする子どもの育成 (一人一人の考えを深める道徳科の授業づくりを通して)				
研究の概要	<p>研究主題及び副題のもと、研究仮説「道徳科の授業づくりにおいて、主題に対する問題意識を高め、道徳的価値を自分との関わりで捉え、考えられるような発問や言語活動を工夫することで、多面的・多角的に考えたり、自己を振り返って更に考えを深めたりする子どもが育つであろう。」を設定し、実践研究に取り組んでいる。研究の重点「考え、議論する道徳科の授業づくり」の具体的方策・共通実践事項を①問題意識を高める導入の工夫、②学習過程における発問の工夫、③道徳的価値を自分との関わりで捉え、考えを深めるための言語活動の充実、④各教科、行事、児童会活動等と関連させた道徳教育の推進の4点とし、授業実践を蓄積している。</p>				

都道府県名	6 山形	学校名	村山市立 西郷小学校	校長名	笹原 良子
学校所在地	〒995-0052 山形県村山市大字名取1217番地			電話番号	0237-55-2413
最寄り駅	奥羽本線JR村山駅			FAX番号	0237-55-7325
指定の種類	区#村教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月20日
研究テーマ (サブテーマ)	気付き、考え、実行する子供の育成 ～道徳科・特別活動を中核として～				
研究の概要	<p>学校研究を学校教育目標具現化の柱に位置づけ、研究テーマを「気付き、考え、実行する子供の育成」と教育目標と同一にしている。そして、主体的に議論しながら心を耕す道徳科と、為すことによって学ぶ特別活動の両輪で児童の道徳性を養うべく授業実践に取り組んでいる。「子供自身が問題を見つけ、解決する方法を考え、それを実行する力」の育成は「生きる力」の根幹となる。新学習指導要領の趣旨を踏まえつつ、学校教育全体で豊かな心と実践力を兼ね備えた子供を育成することができるように、研究を推進している。</p>				

都道府県名	6 山形	学校名	尾花沢市立 玉野小学校	校長名	森山 仁
学校所在地	〒999-4337 山形県尾花沢市大字鶴巻田580番地			電話番号	(0237)28-2113
最寄り駅	奥羽本線 大石田駅 (バス 25分)			FAX番号	(0237)28-2143
指定の種類	区#村教委	研究期間	平成 30～31年度 2年間	研究発表日	平成31年10月 頃
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、思いをもち、素直に表現できる子どもの育成 ～「考える道徳」「議論する道徳」の授業づくりを通して～				
研究の概要	<p>今年度より全面実施された「特別の教科道徳」の充実に向けて、少人数の良さを生かしながら、「主体的・対話的で深い学び」のある授業、「考える道徳」「議論する道徳」の授業の実現を目指して授業改善に取り組んでいく。31年度10月に公開研究発表会を開催し、研究成果を他校へ発信する予定である。</p>				

都道府県名	8 茨城	学校名	笠間市立 笠間小学校	校長名	石田 進
学校所在地	〒309-1611 茨城県笠間市笠間2689番地1			電話番号	0296-72-0076
最寄り駅	JR水戸線 笠間駅 (徒歩 20分)			FAX番号	0296-72-4115
指定の種類	※特に指定なし	研究期間	平成 30年度 1年間	研究発表日	平成30年10月25日
研究テーマ (サブテーマ)	児童の心が動く道徳の授業の在り方 ～題材や他者とのかかわりに視点を置いて～				
研究の概要	<p>今年度、本校では、『笠間小ネクストステージ！「児童が動く」授業づくり』を学校の組織目標として主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指している。その中核に、道徳の授業改善を置き、題材との向き合わせ方、児童同士の学び合いなどに視点を当て、「児童の心が動く」仕掛けづくりの実践を積み重ねている。</p>				

都道府県名	8 茨城	学校名	行方市立 麻生東小学校	校長名	花ヶ崎 圭一郎
学校所在地	〒 311-3821 茨城県行方市蔵川549番地			電話番号	0299-80-7701
最寄り駅	鹿島臨海鉄道線 鹿島大野駅 (タクシー 15分)			FAX番号	0299-73-2301
指定の種類	校内研修	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	未定
研究テーマ (サブテーマ)	すすんで他者と関わり よりよく生きようとする児童の育成 ～考え議論する道徳の実践をとおして～				
研究の概要	本年度より「すすんで社会と関わり未来を切り拓く児童の育成」と全面改訂した本校教育目標の具現化の柱の一つとして、道徳教育を掲げた。特別の教科道徳として、道徳授業の在り方と評価について実践的研究を進めている。考え議論する道徳について、低中高学年それぞれの目指す児童の姿を明らかにし、思考が深まる道徳授業について授業研究を通して研究を続けている。				

都道府県名	8 茨城	学校名	常陸太田市立 太田小学校	校長名	西連寺 有
学校所在地	〒313-0061 茨城県常陸太田市中城町151			電話番号	0294(72)1255
最寄り駅	JR水郡線 常陸太田駅 (バス 10分)			FAX番号	0294(72)1256
指定の種類	都道府県教委 区市町村教委	研究期間	平成 29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成 30年 10月 12日 平成 30年 12月 26日
研究テーマ (サブテーマ)	「自分の思いを語り合える道徳科の指導の在り方」 — 児童の発達の段階や実態に応じた多様な指導方法の工夫を通して —				
研究の概要	道徳科では、様々な場面、状況において道徳的価値を実現するために問題状況を把握し、適切な行為を主体的に選択し、実践できるような道徳性を育てる学習とすることが重要である。そこで本研究では、児童の発達の段階や実態に応じた多様な指導方法の工夫を通して、児童が、課題と主体的に向き合い、道徳的価値を自覚し、自分の思いを語り合う中で、自己の生き方についての考え方を深める道徳科学習の指導の在り方を追究した。				

都道府県名	9 栃木	学校名	市貝町立 小貝小学校	校長名	小筆 一成
学校所在地	〒321-3413 栃木県芳賀郡市貝町文谷1188			電話番号	0285-68-0109
最寄り駅	真岡線 市塙駅 (徒歩 50分)			FAX番号	0285-68-4669
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月2日
研究テーマ (サブテーマ)	共によりよく生きようとする児童を育てる道徳教育 ～主体的に話し合い、互いに深め合う道徳教育の工夫～				
研究の概要	研究主題に迫るために「授業改善」と「小規模校の特質を生かした道徳教育」を柱に研究を行ってきた。「授業改善」への取組では、話し合い活動の工夫やふり返りの工夫、効果的なT2の活用、発問や問い返しの工夫などを中心に研究授業と授業研究会を重ねてきた。「小規模校の特質を生かした道徳教育」への取組では、体験的活動や地域との関連を図った活動を道徳教育の視点で見直し、それらの活動を通して道徳性の高揚に努めてきた。				

都道府県名	9 栃木	学校名	那須塩原町立 埼玉小学校	校長名	福田 順子
学校所在地	〒325-0033 栃木県那須塩原市埼玉99番地			電話番号	0287(60)1293
最寄り駅	JR宇都宮線 那須塩原駅 (バス 10分)			FAX番号	0287(62)9446
指定の種類		研究期間	平成29年度～31年度 3年間	研究発表日	平成31年11月22日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、他者と共によりよく生きる児童を育てる道徳教育 ～「対話」を通して考えを深める道徳科の授業の工夫～				
研究の概要	本校では、第53回関東地区小学校道徳研究大会栃木大会を受けて、29年度から道徳の授業を要として、全職員で授業の工夫・改善を重ねて、道徳教育の充実に努めている。児童の発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、自分自身や他者との対話を通して、自分自身の生き方について、主体的に考え、他者と共によりよく生きようとする児童を育てたいと考え、本研究に取り組んでいる。				

都道府県名	10 群馬	学校名	安中市立 東横野小学校	校長名	新井 覚
学校所在地	〒379-0124 群馬県安中市鷺宮3139番地2			電話番号	027-382-5773
最寄り駅	JR信越線 安中駅 (徒歩 40分)			FAX番号	027-381-4354
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月2日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を持ち、共によりよく生きる児童の育成 －交流し考えを深める道徳の時間の工夫－				
研究の概要	研究テーマに迫る課題を①交流の工夫②授業構成のあり方③中心発問・問い返しの発問の重要性④ねらいの明確化と教材分析の重要性とし、副主題「考えを深める」ための「交流」について、目的や方法・効果を検証しながら研究に取り組む。 「道徳の時間」において多様な考え方、感じ方と交流する過程を通じ、自分の考えを深める指導を行いながら、豊かな心を持ち、共によりよく生きる児童を育成したい。				

都道府県名	11 埼玉	学校名	熊谷市立 奈良小学校	校長名	小島 一代
学校所在地	〒360-0802 埼玉県熊谷市下奈良561-3			電話番号	048-521-2322
最寄り駅	高崎線熊谷駅 (バス 20分)			FAX番号	048-521-2327
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月26日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を持ち、よりよく生きようとする児童の育成 ～家庭・地域社会と共に取り組む「道徳の見える化」をとおして～				
研究の概要	本校では、「特別の教科 道徳」への移行に伴い、道徳性を養う道徳科の授業の転換、体験活動・人との関わりの中で思いを行為に表す『道徳の見える化』を図っている。授業では多面的・多角的な思考、自我関与を促す手立てを取り入れ「考え、議論する道徳」を実践している。また、家庭・地域社会との連携を図り、地域の特色を活かした体験活動を充実させている。これらのことより、よりよく生きようとする児童の育成を目指している。				

都道府県名	11 埼玉	学校名	幸手市立 行幸小学校	校長名	井上 弘江
学校所在地	〒340-0104 埼玉県幸手市円藤地460-2			電話番号	0480-42-0349
最寄り駅	東武日光線 幸手駅 (徒歩 30分)			FAX番号	0840-42-0394
指定の種類	都道府県教委 区町村教委	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成31年 月 日未定
研究テーマ (サブテーマ)	「自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成」 ～「考え、議論する」道徳科の授業を通して～				
研究の概要	<p>○研究主題の設定理由 本校は、近年振興住宅が立ち並び、児童数が大きく増加している。地域・保護者の価値観も多様化し、課題を抱える児童や特別な配慮が必要な児童も増加している状況である。こうした中、子供たちの心を耕し、自他共によりよく生きる力を育むには、道徳科の授業を中心とした心の教育の充実が喫緊の課題である。そこで、本主題を設定した。</p> <p>○研究の内容 ○「考え、議論する」道徳授業の工夫、評価の研究 ○学校・家庭・地域との連携に関する研究 平成30年度 中間発表(2月5日) 平成31年度 本発表(日程未定)</p>				

都道府県名	11 埼玉	学校名	所沢市立 北野小学校	校長名	石井 申明
学校所在地	〒359-1152 埼玉県所沢市北野2-4-1			電話番号	04-2948-6012
最寄り駅	西武池袋線 小手指駅 (徒歩18分)			FAX番号	04-2948-6042
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月28日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心をもち、よりよい生き方を求める児童の育成 ～「考え、議論する道徳」の授業を通して～				
研究の概要	<p>保護者の願いや地域の実態等を踏まえた「めざす児童の姿」の共通理解の下、子どもたちの道徳的判断力、心情、実践意欲を育てるべく仮説を設定し手立てを考えた。</p> <p>それに基づいて、子どもたちに問題意識を持たせる導入の工夫や多面的・多角的に考えるためのグループ協議の仕方、並びに子どもたちが自己の良さや課題を発見できるように工夫したワークシートを作成し、一人一人の考えを見取ると共に、教師自身が指導を振り返り、授業改善に生かせるような取り組みを研究している。</p>				

都道府県名	11 埼玉	学校名	三郷市立 彦郷小学校	校長名	鈴木 勉
学校所在地	〒341-0003 埼玉県三郷市彦成3丁目8番29号			電話番号	048-957-9911
最寄り駅	JR 武蔵野線 新三郷駅 (徒歩 25分)			FAX番号	048-957-9912
指定の種類		研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成31年 2月 1日
研究テーマ (サブテーマ)	主体的に学び、思考力・判断力・表現力を伸ばす児童の育成 (考え、議論し、実践する力を伸ばす指導と評価)				
研究の概要	<p>本校では、「考え、議論し、実践する力を伸ばす道徳」の実現を目指し、次の実践を行っている。①課題解決型の授業を中心に、自分事として考える時間を位置づけ、実践にいかす力を伸ばす指導法の工夫改善。②家庭や地域との連携として「道徳だより こころ」を作成し、配布。③業前に「こころタイム」を位置づけ、心に染みるお話の読み聞かせを行い、考えたことを書かせ、心を耕す指導。こうして、豊かな心の育成を図っている。</p>				

都道府県名	11 埼玉	学校名	三郷市立 新和小学校	校長名	小河 純
学校所在地	〒341-0038 三郷市中央2丁目28番地12			電話番号	048-952-0121
最寄り駅	つくばエクスプレス 三郷中央 駅 (バス 10分)			FAX番号	048-952-0122
指定の種類	都道府県教委 区町村教委	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成31年 2月 8日
研究テーマ (サブテーマ)	自己の生き方についての考えを深め、よりよく生きようとする児童の育成 ～仲間と共に高め合い、豊かな心を育てる道徳教育～				
研究の概要	<p>①「登場人物への自我関与が中心の学習」「問題解決的な学習」「体験的な学習」等、多様な方法で指導を行う。伝え合う活動をとおして物事を多面的・多角的に考えさせる等、児童が主体的に学ぶ授業を実践しねらいとする道徳的価値にせまる。</p> <p>②振り返りが常時できる道徳環境の整備や道徳ノートの活用、児童の変容が見取れる評価の工夫、他教科との指導の関連、仲間と共に高め合う場面の設定、家庭との指導の連携等をとおして道徳性を養い、豊かな心を育む。</p>				

都道府県名	12 千葉	学校名	千葉市立 轟町小学校	校長名	尾高 正浩
学校所在地	〒263-0021 千葉市稲毛区轟町3-4-30			電話番号	043-251-8236
最寄り駅	千葉都市モノレール 天台駅 (徒歩7分)			FAX番号	043-284-4975
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成30年度 2年間	研究発表日	平成31年11月頃予定
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、よりよく生きようとする子供の育成 ～関わり合い、考えを深める道徳学習を通して～				
研究の概要	<p>本研究では、自分を客観的に見つめ、問題をよりよく解決するために自律的に意思決定をし、自分や他者、社会を大切にしながら生きようとする子供の育成をめざす。そのために、道徳科の学習で「教材」「指導の手立て」「振り返り」「指導構想」の工夫をし、子供が自分自身との関わりの中で道徳的価値やそれらに関わる諸事象についての考えを深めたり、一面的な見方から多面的・多角的な見方に発展したりできるようにする。</p>				

都道府県名	12 千葉	学校名	千葉市立 小谷小学校	校長名	内山 尚文
学校所在地	〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野4-45			電話番号	043-292-5820
最寄り駅	JR線 鎌取駅 (徒歩 15分)			FAX番号	043-292-1910
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月28日
研究テーマ (サブテーマ)	主体的に考え、心豊かに学び合う子の育成 (多様な考えを交流させる道徳科の授業を通して)				
研究の概要	<p>平成29年度は、前期に副読本の物語文を教材について、担任全員が本校指定の指導案形式で授業を行った。成果としては、担任が道徳科の特質の理解を深め、指導案の書き方がわかり、授業実践ができるようになったことである。課題は、教師の問一答形式の授業、国語の読み取り式の授業になってしまうことが多いことであった。</p> <p>後期は、低・中・高学年部会ごとに授業実践を行った。前期の反省から教師の発問力の向上のために「補助発問工夫シート」を指導案とともに書いて、授業を行った。児童の予想される意見に対して、押谷教授の「視点移動」の観点から補助発問を考え、シートに記入して授業を行ったことで、対話的な授業が展開できるようになった。また手法を取り入れ、手法を取り入れた理由とその効果について指導案に記述させたことで、児童の興味が高まり、よりねらいに迫る授業展開ができた。</p> <p>本年度は、昨年度の実践をもとに、教科書教材で授業実践をした。また、①今まで行ってきた自我関与中心の道徳授業 ②体験的な学習を取り入れた授業 ③問題解決的な学習を取り入れた授業をそれぞれ実践した。</p> <p>公開研究会では、参観された先生方が、誰でもわかる、できる授業をめざし、行う予定である。</p>				

都道府県名	12 千葉	学校名	習志野市立 香澄小学校	校長名	滝田 勝久
学校所在地	〒275-0022 習志野市香澄4-6-1			電話番号	047-451-6399
最寄り駅	JR京葉線 新習志野駅 JR幕張本郷駅行き(バス 10分)			FAX番号	047-451-6363
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月17日
研究テーマ (サブテーマ)	『心が響く合う道德の時間』 ～道德的価値を自分のこととして捉えることのできる考え議論する授業をめざして～				
研究の概要	本校では、道德的価値を自分のこととして考えらえる児童の育成を目指している。特に重点をおいたことは、丁寧な教材分析を基にした具体的なめあての設定で、これを行うことで授業のねらいが明確になり児童の思考を深めさせられると考えた。そのために、発問の精選、板書の構造化、学習形態の多様化、道德ノートの活用について考え、議論(話し合い)をしたり、自分の中で考えを深めさせたりできるような授業を目指して研究に取り組んでいる。				

都道府県名	12 千葉	学校名	松戸市立 金ヶ作小学校	校長名	池田 笑子
学校所在地	〒270-2251 千葉県松戸市金ヶ作317			電話番号	047-385-8886
最寄り駅	新京成線 五香駅 (徒歩 15分)			FAX番号	047-384-6875
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成 29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月19日
研究テーマ (サブテーマ)	思考し、議論する道德授業 ～ 板書を活かし、自己との対話を深める ～				
研究の概要	<ol style="list-style-type: none"> ホワイトボードの活用 教材の世界に入りやすくするとともに、文章からの読み取りを苦手とする児童の一助として、挿絵とキーワードの掲示の研究を行った。「掲示情報の精選」を進めてしている。 板書の構造化 出された意見を分類、整理して板書することにより、思考の流れや互いの意見の関係性を構造化するとともに、考え方・感じ方の違いや多様性を対比的に考えられるよう配置を工夫し、議論や自己との対話に繋がるよう研究している。 				

都道府県名	13 東京	学校名	荒川区立 第四峡田小学校	校長名	山本 洋
学校所在地	〒116-0011 東京都荒川区町屋2-11-6			電話番号	03-3895-6864
最寄り駅	東京メロ 千代田線 町屋駅 (徒歩 5分)			FAX番号	03-3819-6807
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成 30年度～31年度 2年間	研究発表日	未 定
研究テーマ (サブテーマ)	互いを認め合い、望ましい人間関係を築く子供の育成 (思いを伝え深め合う 道德科・学級活動の指導を通して)				
研究の概要	「思いを伝え深め合う」ことのできる姿を「目指す児童像」とし、その具現化に向けて、道德科と学級活動の指導を通して研究を深めている。道德科では、児童の内面である道德性を道德的な判断力、心情、実践意欲と態度の諸様相の観点から、主体的、対話的な学びを通して、深く自覚できるよう育成していく。学級活動では、児童の望ましい人間関係を形成するために、話し合い活動(学級会)を中心とした学びを通して、自主的、実践的な態度を育成していく。				

都道府県名	13 東京	学校名	渋谷区立 神南小学校	校長名	染谷 由之
学校所在地	〒150-0042 渋谷区宇田川町5-1			電話番号	03-3464-0659
最寄り駅	JR線渋谷駅 (徒歩 10分)			FAX番号	03-3464-0636
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	未定
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな感性と道徳的实践力を育む道徳教育の推進 (他教科と関連付けた道徳教育を通して)				
研究の概要	本校は平成27・28年度渋谷区研究指定校、平成28・29年度東京都道徳教育拠点校として研究主題「心豊かで 明るく 力いっぱい生きる子どもを育てる」のもと、「考え、議論する道徳の時間」についての研究を行った。本年度はその成果を生かしながら、他教科で行われる道徳教育と道徳科の授業との関連を図りながら、豊かな感性や道徳的实践力(道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度)を育成するため、「道徳科の単元化」や「道徳教育ユニット」についての研究に取り組んでいる。				

都道府県名	13 東京	学校名	町田市立 小山ヶ丘小学校	校長名	佐野 友隆
学校所在地	〒194-0215 東京都町田市小山ヶ丘5-37			電話番号	042(770)6251
最寄り駅	京王線多摩境駅 (徒歩 15分)			FAX番号	042(770)6258
指定の種類	都道府県教委 区市町村教委	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成31年11月1日
研究テーマ (サブテーマ)	無形の力を育む ～ICTを活用した指導法の工夫～				
研究の概要	本校は東京都道徳教育モデル校、町田市研究推進校として平成30、31年度の研究指定を受けるとともに町田市のICT教育推進校としても平成29、30、31年度の指定を受けている。そこで、電子教科書やタブレットを活用しながら道徳の時間を進めている。 特に研究の中心となるのは、別業に基づいた授業作りである。月一回、1～6年生までが同じ内容項目で授業を行う「全校道徳」を中心に月毎のテーマに沿った道徳教育を行っている。「無形の力」は、道徳教育を重ねる先に見えてくる力であると定義している。目には見えないけれど、人間として大切な力を育てていきたい。				

都道府県名	14 神奈川	学校名	川崎市立 南野川小学校	校長名	野村 智
学校所在地	〒216-0001 川崎市宮前区野川2604			電話番号	044-788-5500
最寄り駅	東急田園都市線鷺沼駅 (川崎市営・東急バス20分)			FAX番号	044-799-5962
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度 2年間	研究発表日	平成30年12月5日
研究テーマ (サブテーマ)	認め合おう！みんなの思い ～相手のことを考えて行動できる子を目指して				
研究の概要	道徳教育研究への取組が3年目を迎えた。28・29の2年間は、「みんな一緒に生きている」の視点を大切にし、指導計画の改善、指導方法の工夫に取り組んできた。教科となった今年、児童の成長を促すための評価を研究の柱に加え、学習指導過程や指導方法を工夫して、道徳性を育てるために、かわさき教育プランのもと「キャリア在り方生き方教育」など様々な教育活動との関連を図りながら、道徳の授業を充実させている。				

都道府県名	14 神奈川	学校名	横浜市立 別所小学校	校長名	矢崎 真理
学校所在地	〒232-0064 横浜市南区別所6-3-1			電話番号	045-715-2972
最寄り駅	京浜急行・横浜市営地下鉄 上大岡駅 (徒歩 15分)			FAX番号	045-713-4059
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成 29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成31年1月17日
研究テーマ (サブテーマ)	「主体的に自己を見つめ、より良い生き方を求める子どもの育成」 (確かな価値把握をして自己を振り返り、思いを語る支援のあり方)				
研究の概要	1 道徳科の問題解決的な授業づくり (別業との関わりを踏まえた事前指導、主題指導、事後指導) 2 道徳科の導入・展開前段・後段・終末の、効果的指導のあり方 (学習課題、教材選定と活用、発問・板書等の指導技術、子ども同士の対話的学び) 3 道徳科の評価のあり方 (学習状況の評価観点・規準、学習状況評価の方法と蓄積) 4 目指す子どもの姿の実現状況評価				

都道府県名	17 石川県	学校名	能美市立和気小学校	校長名	辻 和久
学校所在地	〒923-1224 石川県能美市和気町イ140			電話番号	0761-51-2214
最寄り駅	J R 北陸本線能美根上駅 バス30分)			FAX番号	0761-51-2211
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成31年2月 平成31年10月
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、よりよく生きようとする人間性豊かな児童の育成 ～自分のこととして捉え、「考え、議論する」道徳科の授業を通して～				
研究の概要	本校のめざす子どもの姿である「心豊かで友達を思いやる子」の実現に向けて、「親切・思いやり」「公正・公平、社会正義」を重点指導目標とし、特別の教科道徳の授業はもちろん、地域や家庭との連携を図りながら、児童の道徳的価値の理解、道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度の深まりに対して研究を進めている。				

都道府県名	19 山梨	学校名	笛吹市立 一宮西小学校	校長名	丸山 泰弘
学校所在地	〒405-0075 笛吹市一宮町東原330-2			電話番号	0553-47-0008
最寄り駅				FAX番号	0553-47-0794
指定の種類		研究期間		研究発表日	平成30年11月13日
研究テーマ (サブテーマ)	21世紀を生きる子どもたちの豊かな心の育成 ～「自己のとの対話を深める」道徳の授業の工夫を通して～				

都道府県名	19 山梨	学校名	富士川町立 鰺沢小学校	校長名	大木 良仁
学校所在地	〒400-0601 南巨摩郡富士川鰺沢1172			電話番号	0556-22-0055
最寄り駅				FAX番号	0556-22-0066
指定の種類		研究期間		研究発表日	平成30年10月24日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を持ち、生き生きと学び合う児童の育成 ～健全な自尊感情を育み、自他を認め合う道徳教育～				

都道府県名	19 山梨	学校名	富士吉田市立 下吉田東小学校	校長名	堀内 一義
学校所在地	〒403-0004 富士吉田市下吉田九丁目21-1			電話番号	0555-23-7831
最寄り駅				FAX番号	0555-23-7839
指定の種類		研究期間		研究発表日	平成30年10月31日
研究テーマ (サブテーマ)	相手を思いやり、正しく判断し、実践できる児童の育成 ～互いの考えの交流を大切にした道徳の授業づくりを通して～				

都道府県名	19 山梨	学校名	甲府市立 笛南中学校	校長名	鈴木 昇
学校所在地	〒400-1508 甲府市下曾根270			電話番号	055-266-3061
最寄り駅				FAX番号	055-266-3861
指定の種類		研究期間		研究発表日	平成30年11月2日
研究テーマ (サブテーマ)	課題に気づき主体的に学ぶ豊かな生徒の育成 ～「考え、議論する道徳の実践研究を通して」～				

都道府県名	19 山梨	学校名	甲斐市立 竜王北中学校	校長名	小林 大
学校所在地	〒400-0118 甲斐市竜王420			電話番号	055-279-7200
最寄り駅				FAX番号	055-279-8862
指定の種類		研究期間		研究発表日	
研究テーマ (サブテーマ)	自ら学び、考え、判断し、心を磨いていく生徒の育成 ～考え、議論する道徳の実践研究を通して～				

都道府県名	19 山梨	学校名	河口湖南中学校組合立 河口湖南中学校	校長名	小佐野 雄也
学校所在地	〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津1164			電話番号	0555-72-1142
最寄り駅				FAX番号	0555-72-1143
指定の種類		研究期間		研究発表日	平成30年10月19日
研究テーマ (サブテーマ)	自己の生き方についての考えを深める道徳教育				

都道府県名	21 岐阜	学校名	羽島郡笠松町立 笠松小学校	校長名	澤田 辰男
学校所在地	〒501-6073 岐阜県羽島郡笠松町下新町87			電話番号	058-388-0101
最寄り駅	名古屋鉄道 竹鼻線 西笠松駅 (徒歩 5分)			FAX番号	058-388-0102
指定の種類	都道府県教委	研究期間	昭和28年度～30年度 3年間	研究発表日	平成32年11月6日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、自らよりよい生き方を求め、実践する子				
研究の概要	<p>本校では、道徳科と他の教育活動とを関連付けて道徳的諸価値をより意図的に指導できるよう「総合単元プログラム」を開発し、成果を上げている。道徳的実践の場を明確にすることによって、道徳性を養い、児童自身が実感するまでに至っている。そのよさを踏まえ、主体的・対話的で深い学びを通して、道徳性を高め、実践する道徳教育の具現を目指している。</p> <p>具体的には、研究内容をⅠ「道徳性を育成する道徳科授業における多様な指導方法の工夫」Ⅱ「道徳的諸価値を計画的・発展的に指導し、道徳的実践力を育むための総合単元プログラムの在り方」の2点とし、本年度は特に、新教材での授業実践であるということを踏まえ、研究内容Ⅰに関わる内容を核として実践を進めてきた。</p> <p>また、「多様な指導方法の工夫」を、価値理解を深めるための導入の在り方、対話を通じた多様な感じ方・考え方の交流の在り方、自己を見つめることのできる言語活動の在り方の工夫とし、各学年部を母体として、研究を進めている。さらに、総合単元プログラムを活用し、授業者自身がより明確な指導観をもつことによって深まりのある授業が展開できると考え、道徳科の特質を生かした指導の改善・工夫について、各学年の発達段階を踏まえ、系統性を明らかにしながら実践を積み重ねている。</p>				

都道府県名	21 岐阜	学校名	岐阜市立 加納小学校	校長名	森 透
学校所在地	〒500-8448 岐阜県岐阜市加納西丸町1丁目73-2			電話番号	058-272-2028
最寄り駅	JR東海道本線 岐阜駅 (徒歩 15分)			FAX番号	058-272-2048
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成 29年度～31年度 3年間	研究発表日	平成31年6月22日
研究テーマ (サブテーマ)	自分とのかかわりで道徳的価値を追求・把握し、 よりよい生き方を見付け出す道徳学習				
研究の概要	本校では、「実践力のある子どもの育成」という学校全体としての研究主題を設定している。道徳科における実践力のある子どもの姿を、「自己の生き方を振り返り、自他とのかかわりを考えて、よりよく生きていこうとする姿」ととらえ、研究テーマを設定した。学習においては、①内容項目で育成したい資質・能力を明らかにするとともに、児童の実態を把握して要因分析を行うこと、②道徳性の高まりを想定した他の教育活動との関連を図った指導構想を工夫すること、③道徳的諸価値の理解を基に自己のよりよい生き方を見つけ出す指導方法を工夫し、研究テーマの具現をめざしている。				

都道府県名	21 岐阜	学校名	岐阜市立 長良西小学校	校長名	石神 淳司
学校所在地	〒502-0832 岐阜県岐阜市千代田町2丁目1番地			電話番号	058-232-5222
最寄り駅	JR岐阜駅 (徒歩 20分)			FAX番号	058-232-5227
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成 30年度～現在	研究発表日	平成30年11月3日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、他者と共に人としてよりよい生き方を求め続ける子				
研究の概要	本校における研究は、道徳科として子供達の内面的資質としての道徳性を育成するために、展開における立場を明らかにした議論の在り方や道徳的価値のよさを実感することができる発問構成の在り方、また、自己を見つめ、学んだ道徳的価値を適用する場を広げ、人としてよりよい生き方を求めるための終末の在り方についての実践研究である。				

都道府県名	21 岐阜	学校名	岐阜市立 長良東小学校	校長名	鵜飼 高男
学校所在地	〒502-0056 岐阜県岐阜市長良真正町3丁目9番地			電話番号	(058)233-7203
最寄り駅	東海道本線岐阜駅 (バス 20分)			FAX番号	(058)233-7294
指定の種類	市内の研究校としての 位置づけ	研究期間	平成30年度～32年度 3年間 ※現在の共通視点での3年	研究発表日	平成30年10月20日
研究テーマ (サブテーマ)	自ら求め みがき合って高まる 学習の創造 共通視点 「学び続けるたくましさ」の育成				
研究の概要	本校では昭和49年の開校以来「自ら求めみがき合って高まる学習の創造」を研究主題とし、日々実践研究を重ねている。一人一人の教師が、自分の課題を明確にし、より教科の本質を踏まえた教育の在り方を模索する個人研究テーマをもって教育実践に向かうスタイルも45年間継続している実践研究の形である。 上述の通り、個人研究テーマを掲げつつ、「互いの授業を児童の姿を通してみていく共通の窓」として共通視点を掲げている。全校研究会を年間におよそ8回(年によって異なる)、部研については、5、6、9、2月と年間で相当数の実践を積み重ねているところである。 さらに、研究主題により迫るための組織体制も整備した。教科部を3つのグループに分け、「主題追究委員会」を立ち上げ、本時の授業が研究主題に迫っていたものであるかを議論できるようにしている。				

都道府県名	21 岐阜	学校名	岐阜市立 長良小学校	校長名	立川 健之
学校所在地	〒502-0071 岐阜県岐阜市長良259番地			電話番号	(058)232-2119
最寄り駅	JR線 岐阜駅 (バス 30分)			FAX番号	(058)232-2120
指定の種類	市内の研究校として	研究期間	平成28年度～30年度 3年間	研究発表日	平成30年10月27日
研究テーマ (サブテーマ)	「たくましさ」を培う教育の創造 (学びを生かして働きかける)				
研究の概要	<p>厳しい挑戦の時代かつ急速な社会の変化に伴った予測が困難な時代に求められる「たくましさ」を「乗り越える力をもって生きぬく主体的な自己」と「学びを生かして働きかける自己」を併せもった子どもとしてとらえ、実践を重ねている。またその手立てとして授業における「3つの対話(事象との対話・仲間との対話・未来への対話)」に取り組み、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指している。</p>				

都道府県名	22 静岡	学校名	磐田市立 豊岡北小学校	校長名	寺井 啓高
学校所在地	〒438-0112 静岡県磐田市下野部158-1			電話番号	0539-62-2036
最寄り駅	天竜浜名湖鉄道 線 豊岡 駅 (徒歩 10分)			FAX番号	0539-62-5967
指定の種類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成31年11月8日《予定》
研究テーマ (サブテーマ)	世界のどこでも、誰とでも、 主体的に共によりよく生き抜く力を育む基盤となる道徳性の育成				
研究の概要	<p>価値観・子供観・教材観の3つの『観』を明確にして、多面的・多角的な見方や自分事としての思考に発展する授業づくりに力を入れている。また、子供の発達段階や実態に即した重点内容項目を設けるとともに、作成した道徳教育全体計画及びその別葉の修正を続けてきている。さらに、「私たちの道徳」を用いての親子道徳の実施や地域のひと・もの・ことを活用した道徳授業の実践、学校だより等による情報発信に取り組んでいる。</p>				

都道府県名	23 愛知	学校名	西尾市立 横須賀小学校	校長名	榊原 孝宏
学校所在地	〒444-0521 愛知県西尾市吉良町上横須賀菱池13番地1			電話番号	0563-35-0100
最寄り駅	名鉄西尾線 上横須賀駅 (徒歩 3分)			FAX番号	0563-35-0149
指定の種類	区伊東教委	研究期間	平成28年度～30年度 3年間	研究発表日	平成30年10月19日
研究テーマ (サブテーマ)	夢に向かって 前向きな生き方を創造し続ける子どもの育成 ～ 道徳教育の充実を通して ～				
研究の概要	<p>目指す子ども像を「よりよく生きるための道徳性を磨き、自ら目標をもち、互いに高め合い、努力できる子」とします。それに迫るために、①焦点化したねらいを設定するための工夫、②考えが深まる授業展開の工夫、③考えを深めるための板書の工夫を通して「考え、議論する道徳」の授業の実現を目指し、④「よこころタイム」の設定、⑤人とのつながりを大切に活動の充実を通して、子どもの主体的な活動の実現を目指します。</p>				

都道府県名	23 愛知	学校名	蒲郡市立 竹島小学校	校長名	大野 邦彦
学校所在地	〒443-0054 蒲郡市府相町三丁目40番地			電話番号	0533-69-7171
最寄り駅	JR東海道本線蒲郡駅 (徒歩 約10分)			FAX番号	0533-67-8466
指定の種類	区伊東教委	研究期間	平成27年度～30年度3年間	研究発表日	平成30年10月31日
研究テーマ (サブテーマ)	共によりよく生きようとする子を育てる ～子どもが主体的に学ぶ道徳の授業～				
研究の概要	授業においては、子どもたちがかわり合い、考え合う姿を大切にする。その際、視野を広げて日々の生活を思い起こして考えさせたり、自分の考えを深めることができるように、多様な見方や考え方に触れたりすることができるように工夫する。考え合う活動を通して、これまでの学びや仲間の姿をもとに、自分の姿をしっかり見つめ、揺れ動いたり、問い直したりしながらも、より深い考えが形成され、将来に向かって、その子なりの歩み方を見つけることができる子どもの育成を目指す。				

都道府県名	23 愛知	学校名	豊田市立 若林西小学校	校長名	緒方 秀充
学校所在地	〒473-0917 豊田市若林西町西ノ堂7			電話番号	0565-52-2821
最寄り駅	名鉄三河線 若林駅 (徒歩 10分)			FAX番号	0565-52-9661
指定の種類	区伊東教委	研究期間	平成29年度～30年度2年間	研究発表日	平成30年10月16日
研究テーマ (サブテーマ)	他者とともにによりよく生きる若西っ子の育成 — 子どもの心を豊かにする道徳科の指導と評価 —				
研究の概要	1時間の授業づくりについて、子どもの現在の意識を起点に、問題意識を大切にして中心発問を見出し、道徳的な意識の変容・再構築を図る授業スタイルを提案した。検定教科書使用元年にちなみ、教材はすべて教科書を用いた。評価については、特に子ども一人一人の成長を認め、励まし、勇気付ける評価をめざし、授業の振り返りキーワードの設定や、子どもを認め励ます通知表の所見の書き方を提案した。				

都道府県名	23 愛知	学校名	田原市立 若戸小学校	校長名	松田 政春
学校所在地	〒441-3503 愛知県田原市若見町小山20番地			電話番号	0531-45-2008
最寄り駅	豊橋鉄道渥美線 三河田原駅 (バス 30分)			FAX番号	0531-45-3961
指定の種類	区伊東教委	研究期間	平成30年度～31年度2年間	研究発表日	平成31年10月24日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かに感じ、自ら考え、思いを深めることができる子の育成 — 子どもたちひとりひとりの心に響く道徳の授業をめざして—				
研究の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○研究計画 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育「全体計画」及び「年間計画」、「別様」を活用する。 ・他教科、行事等との関連を図り、指導計画を立てる。 ○研究の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な指導方法を工夫する。 ・自分と向き合って考える教材提示、発問を工夫する。 ・対話的な学び、体験的な学びを工夫する。 ・評価を工夫する。(ポートフォリオ評価、エピソード記述に基づく評価) 				

都道府県名	23 愛知	学校名	碧南市立 中央小学校	校長名	深津 研一
学校所在地	〒447-0871 愛知県碧南市向陽町3丁目19番地			電話番号	0566-42-8700
最寄り駅	名鉄三河線 碧南中央駅 (徒歩 5分)			FAX番号	0566-41-4922
指定の種類	市教委	研究期間	平成28年度～30年度 3年間	研究発表日	平成30年7月2日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな道徳性を育み、よりよく生きようとする子の育成 ～問題解決的な学習を中心とした道徳科授業を通して～				
研究の概要	従来型の心情理解に偏った道徳授業から脱却をめざし、問題解決的な学習を取り入れた道徳科の授業の具現化をはかることを目的として研究を行ってきた。主に授業展開の工夫についての実践に重きを置き、子どもの思考を助ける板書の方法や2時間完了の道徳科の授業実践も行ってきた。				

都道府県名	24 三重	学校名	桑名市立 星見ヶ丘小学校	校長名	武藤 耕嗣
学校所在地	〒511-0912 三重県桑名市星見ヶ丘8丁目501			電話番号	0594-32-6311
最寄り駅	三岐鉄道 北勢線 星川駅 (徒歩 15分)			FAX番号	0594-32-6312
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成27年度～29年度 3年間	研究発表日	平成31年1月25日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、心を重ねて考え、ともによりよく生きる「星っ子」の育成 ～道徳科の特質を生かした学習指導と効果的な指導方法を活用した指導の工夫～				
研究の概要	本校は、平成27・28・29年度に文部科学省の指定を受け、道徳の時間の特質を生かした道徳授業の工夫について研究を進めてきた。 平成30年度も研究を継続し、道徳科の特質を生かした「考え、議論する道徳授業の創造」を目指している。基本的学習指導過程に基づき、資料提示、発問、話し合い活動、書く活動、表現活動、板書などを工夫し、効果的な指導方法を吟味して学習指導案に位置付け、授業実践を積み重ねている。 平成31年1月には研究発表会を開催する予定である。				

都道府県名	25 滋賀	学校名	湖南市立 菩提寺小学校	校長名	松浦 加代子
学校所在地	〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺1583-270			電話番号	0748-74-1755
最寄り駅	JR草津線石部駅 (バス 15分)			FAX番号	0748-74-3678
指定の種類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月26日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を持ち、自己の生き方について考えることができる子どもの育成 ～一人ひとりの児童が自分事として向き合う道徳学習を通して～				
研究の概要	「特別の教科 道徳」の授業改善を核としながら、学校の教育活動全体における道徳教育の在り方を研究。研究においては、①「湖南市スタイル」の道徳授業づくり ②道徳環境・基盤づくり を柱として、「湖南市スタイル」の道徳授業を定着・改善し、今、求められている「考え、対話し、議論する道徳授業」としていくことや、学校の教育活動全体で児童の道徳性を育てていくことを目指してきた。児童が自分自身を見つめ、良さに気付き、自己の生き方について考えることができる道徳学習を深めていきたい。				

都道府県名	25 滋賀	学校名	草津市立 渋川小学校	校長名	清水 康行
学校所在地	〒525-0025 滋賀県草津市西渋川二丁目8-55			電話番号	077-566-6116
最寄り駅	JRびわこ線草津駅 (徒歩 20分)			FAX番号	077-566-6112
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月12日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を持ち、友だちや地域とつながり、よりよく生きようとする たくましい児童の育成 (道徳科における授業改善)				
研究の概要	「自尊感情」、「確かな学力・豊かな心」をキーワードに、『考え、議論する道徳科』に向けた授業改善に取り組み、「特別の教科 道徳」の趣旨や内容・方法に即して、①授業の構想、②子どもの主体的な学びを促すめあて・課題の設定③対話的で、多面的・多角的な考えを導くペア・トリオ・グループ学習のあり方を実践的に検証してきた。 また、他教科との関連を図り、本校の特色的な教育活動である環境教育・ESDと連動した道徳教育を創ってきた。				

都道府県名	25 滋賀	学校名	多賀町立 多賀小学校	校長名	久保川 雅子
学校所在地	〒 522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀738			電話番号	0749-48-0004
最寄り駅	近江鉄道 多賀線多賀大社前駅 (徒歩 5分)			FAX番号	0749-48-0922
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成 29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月29日
研究テーマ (サブテーマ)	「自ら豊かな心を求め、よりよく生きることができる子どもの育成」 ～考え、議論し自分ごととして考える活動を充実させ、 自他を大切にすることを育む道徳教育の充実とその評価～				
研究の概要	道徳科を窓口「考え、議論し自分ごととして考える活動を充実させる」授業づくりを目指す。手立てとして①道徳科の授業改善②実践意欲と態度につながる環境づくりで研究実践を行っている。まずは、考えを引きだす主発問の工夫、自分ごととしてとらえるための展開後段の持ち方、評価につながる振り返りの工夫を研究し教員の授業力向上に取り組んでいる。二つ目の環境づくりについては、各学級に道徳コーナーを常設し、意識化を図っている。				

都道府県名	27 京都	学校名	京都市立 錦林小学校	校長名	近藤 清美
学校所在地	〒606-8322 京都市左京区岡崎入江町1-1			電話番号	075-771-0921
最寄り駅	京阪電鉄 神宮丸太町 駅 (15分)			FAX番号	075-771-3622
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成 30年度 1年間	研究発表日	平成31年2月1日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、互いを認め高め合い、よりよい生き方を追究する子どもの育成				
研究の概要	本校では、道徳の授業研究を軸として、生活科・総合的な学習の時間・特別活動と連動させた教科横断的な取組(カリキュラムデザイン)についての研究を主な内容として取り組んでいる。 学校教育目標「人との関わり・つながりの中で、自分を高める実行力の育成」～集団や地域での学びを「なりたい自分」につなげる強さを育てる～をもとに、道徳教育の重点内容項目を「A 希望と勇気、努力と強い意志」に定め、あらゆる教育活動の中で道徳教育を行っていく基本姿勢を貫き、取組を進めている。 研究の重点としては、①重点内容項目についての授業研究を行うこと ②他教科と道徳科との意図的な関連を図ること ③道徳科の評価についての研究を、演習を中心に進めること の3点である。				

都道府県名	27 京都	学校名	京都市立 仁和小学校	校長名	鳥屋原 学
学校所在地	〒602-8377 京都市上京区御前一条下ル東堅町132-1			電話番号	075-492-0092
最寄り駅	JR山陰線 円町駅 (徒歩 15分)			FAX番号	075-462-0572
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成 30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月21日
研究テーマ (サブテーマ)	自ら進んで考え、話し合い、共に学び合える子の育成				
研究の概要	<p>学校生活アンケートをもとに、今年度は「希望と勇気」「努力と強い意志」を重点項目と設定し、児童が主体的に考え、互いを支えあい、互いの規範意識を高め合える授業づくりに取り組んでいる。そして、授業研究は次の4点を中心に進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中心発問で考えを深める ○児童同士の交流の工夫 ○児童の考え、わかる板書の計画及び検証 ○1時間1時間の評価を大切にしたい児童の考えや変容の見取り 				

都道府県名	27 京都	学校名	京都市立 梅津小学校	校長名	若松 秀一
学校所在地	〒615-0916 京都市右京区梅津中村町38番地			電話番号	075-861-0009
最寄り駅	阪急嵐山線 松尾駅 (徒歩 15分) 京都市バス 長福寺道下車(徒歩 5分)			FAX番号	075-881-0465
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成28年度～30年度 3年間	研究発表日	平成30年11月30日
研究テーマ (サブテーマ)	よりよい生き方を求め、自ら気付き、考える子の育成を目指した“しなやかな道德教育” — 学校教育活動全体を通じた「道德教育」の推進と授業改善を通して —				
研究の概要	<p>今年度は、今まで行ってきた成果を基盤にしながら子どもたちが45分間の学習の中で、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えを深められるような「特別の教科 道德」について研究を進める。</p> <p><目指したい道德教育> 教職員全員が各々の職種の特質に応じて、学校教育活動全体を通じ、子どもたちが自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養っていきけるような道德教育を目指したい。</p> <p><目指したい道德学習> 学力の優劣や道德の見方や考え方の違い、発達障がいの有無にかかわらず、子どもたちがねらいとする道德的価値について、多面的多角的に楽しく考え、理解し、自己を見つめ、自己の生き方について考えを深める道德学習を目指したい。</p>				

都道府県名	28 大阪府	学校名	堺市立浅香山小学校	校長名	中井 千鶴
学校所在地	〒590-0018	堺市今池町5丁4-43		電話番号	(0722)38-0003
最寄り駅	南海本線線 浅香山駅 (徒歩 5分)			FAX番号	(0722)38-0004
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成 29年度～ 30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月16日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心をはぐくみ、自他ともによりよく生きようとする児童の育成 ～道德科の授業の充実をめざして～				
研究の概要	<p>堺市では平成28年度より小学校中学校が協働してそれぞれ隔年で研究大会を実施している。本年度は小学校の道德科実施年であることから、考え議論する道德科の授業をいかに実現していくのか、新学習指導要領にある～主体的で・対話的で深い学びについて小中で実践研究を重ねている。</p>				

都道府県名	大阪府	学校名	岸和田市立城東小学校	校長名	谷 早苗
学校所在地	〒596-0808 岸和田市三田町146			電話番号	(072)444-5516
最寄り駅	南海ウイングバス線 城東小学校駅 (バス・徒歩 4分)			FAX番号	(072)444-5373
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成 30年度～ 年度 1年間	研究発表日	平成31年2月6日
研究テーマ (サブテーマ)	教えあい、学びあえる児童の育成をめざして ～道徳教育を通して、互いに認め合える心情を養う～				
研究の概要	特別の教科 道徳における学習指導と評価の研究をふまえたうえで、考え議論する道徳＝主体的・対話的で深い学びの実現をいかにめざしていくのか、さらに、その先にある児童の豊かな心を育成していくための授業実践について研究を重ねていく。				

都道府県名	28 大阪府	学校名	富田林市立 久野喜台小学校	校長名	澤口 昌彦
学校所在地	〒584-0074 富田林市久野喜台1-16-1			電話番号	(0721)29-1450
最寄り駅	南海本線線 金剛駅 (徒歩10分)			FAX番号	(0721)28-6821
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成 28年度～ 30年度 3年間	研究発表日	平成30年12月11日
研究テーマ (サブテーマ)	道徳の基本的な指導法の研究と評価 ～言語活動の充実を基盤にして～				
研究の概要	新学習指導要領にある～主体的で・対話的で深い学びについてその趣旨の理解の中で児童の学習活動をみとり、評価につなげていくのかを研究。その際、自分の言葉で語れる児童を併せて他教科との指導とともに育成していく。				

都道府県名	28 大阪府	学校名	枚方市立さだ西小学校	校長名	藤本 秀樹
学校所在地	〒573-0065 枚方市出口6丁目20-1			電話番号	(050)7102-9104
最寄り駅	京阪電鉄線 光善寺駅 (徒歩20分)			FAX番号	(072)832-8222
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成 30年度～ 1年間	研究発表日	未定
研究テーマ (サブテーマ)	「自他を見つめ、つながり合う」道徳教育の推進 ～指導と評価の一体化をめざして～				
研究の概要	「特別の教科道徳」実践事例集(大阪府)を活用した多様で効果的な実践の研究と新学習指導要領の趣旨や内容を踏まえ、指導と評価の一体化をめざした授業づくりの推進を行う。同時に平成28年度より本校独自で取り組んでいる「特別の教科道徳」の研究に取り組んでいる成果を活かすと共に、さらなる研究に努め、授業改善に取り組む。				

都道府県名	29 大阪市	学校名	大阪市立 巽東小学校	校長名	三上 孝
学校所在地	〒544-0014 大阪市生野区巽東3-8-13			電話番号	06-6758-3261
最寄り駅	大阪メロ千日前線 北巽駅 (徒歩10分)			FAX番号	06-6758-0596
指定の種類	区中教育委員会	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月7日
研究テーマ (サブテーマ)	「自尊心を高め、互いに思いやる心豊かな子どもを育てる」 ～道徳の教科書を使って～				
研究の概要	<p>昨年度は、新学習指導要領もふまえながら、道徳の授業で何を大切にすべきなのか、どのように授業づくりをしていくと子どもの学びにつながるのか、といった基本となることを考えていくこととした。</p> <p>(1)ねらいとする価値をはっきりとさせる (2)授業前後の子どもの様子や考え方を意識する (3)授業展開と主発問を考える (4)評価を考える</p> <p>今年度は、実際に教科書を使用して指導をしていく中で、何に力点をおいて指導すればよいのか、つまづきが予想されそうな場面をとらえて指導方法を研究した。</p>				

都道府県名	29 大阪市	学校名	大阪市立 玉出小学校	校長名	桐山佳晃
学校所在地	〒557-0044 大阪市西成区玉出中2丁目13番48号			電話番号	06-6659-2000
最寄り駅	大阪メロ四ツ橋線 玉出駅下車(徒歩 3分) 南海本線 岸里玉出駅下車(徒歩 7分)			FAX番号	06-6659-2091
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月22日
研究テーマ (サブテーマ)	学びに進む子どもの育成 (考えることを大切にする道徳の授業)				
研究の概要	<p>特別の教科「道徳」において、新学習指導要領にて求められる『知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」』を追求した授業を創造する。</p> <p>教科書の活用法を模索し、内容項目Bを中心に据えた実践研究を深めていく。</p> <p>道徳の時間の学習指導過程について、次のように、導入、展開、終末をデザインする。</p> <p>①導入『価値への方向づけ』では、学習への方向づけする工夫。 ②展開『価値の追求・把握』では、教材の理解を深める『中心発問と補助発問』の工夫。 ③終末『自分事としての深化』では、本時の学びを自分事に深める活動の工夫。</p> <p>また、評価研究として、エピソード評価を中心に児童の良さを見出し、道徳ノートやワークシート等も活用して、通知票・学習指導要録の評価の記入方法を明らかにしていく。</p>				

都道府県名	29 大阪市	学校名	大阪市立 九条南小学校	校長名	堀尾 浩行
学校所在地	〒550-0025 大阪市西区九条南2-13-17			電話番号	06-6582-0930
最寄り駅	大阪メロ中央線 九条駅 阪神なんば線 九条駅(徒歩 3分)			FAX番号	06-6582-0031
指定の種類		研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成31年1月25日
研究テーマ (サブテーマ)	伝え合う活動をいかした「特別の教科 道徳」 ～自分が好き！友だちが好き！地域が好き！～				
研究の概要	<p>平成29年度は【言語活動の充実】【伝え合う活動を生かした道徳授業～主体的・対話的で深い学びを目指して】を柱に道徳授業の改善を図るよう研究を進め、教材(資料)の特質にあった授業の展開や効果的な中心発問について工夫を重ねてきた。</p> <p>今年度はそれらを踏まえて、内容項目を「公平・公正、社会正義」に絞り、授業研究を通して低学年から高学年そして中学校も意識した指導の在り方を探求していく。その中で、評価についての校内議論の深化や教科書付随の道徳ノートの活用方法なども進めていく。</p>				

都道府県名	29 大阪市	学校名	大阪市立丸山小学校	校長名	松下 淳則
学校所在地	〒545-0042 大阪市阿倍野区丸山通1丁目4番43号			電話番号	06-6661-6731
最寄り駅	大阪メトロ 谷町線 阿倍野駅 (徒歩 10分)			FAX番号	06-6661-7461
指定の種類	区立小教委	研究期間	平成 29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成31年2月8日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を育む、道徳教育の創造 ～自分の思いや考えを豊かに表現する～				
研究の概要	<p>研究1年目は基礎基本に立ち返った研究をするとともに、特別の教科「道徳」の特徴をしっかりと受け止めながら授業実践に取り組んだ。その結果、一人ひとりの児童が多様な側面から考えたものの見方や考え方、受け止め方を発表し合い、活発な話し合いのもと、考えを深めることができた。</p> <p>研究2年目の本年度は、下記の重点にて、さらに取り組みを進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ねらいにせまる発問の観点をさらに明確にさせ、授業の構成や指導内容を工夫し、児童の思考が深まるようにする。 ○ 言語活動を重視し、役割演技を導入した授業づくりに向けて、指導案検討と検証授業を重ねる。 ○ 学年別の観点を明確にした、道徳の学習評価のあり方を、さらに探究していく。 				

都道府県名	29 大阪市	学校名	大阪市立宮原小学校	校長名	吉田 典子
学校所在地	〒532-0005 大阪府大阪市淀川区三国本町1-16-44			電話番号	06(6399)4233
最寄り駅	阪急宝塚線 三国駅 (徒歩 10分)			FAX番号	06(6399)4232
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成31年1月18日
研究テーマ (サブテーマ)	「主体的・対話的で深い学びのための道徳科授業デザイン」 ～ユニバーサルデザインの視点から～				
研究の概要	<p>授業のねらいを焦点化し、他者と見方・考え方を共有することで、「深い学び」をすることができることを研究仮説とし、以下の研究内容に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○その教材ならではの道徳的価値の側面と児童のもつ見方や考え方との「ずれ」を明確化し、焦点化して、ねらいとして設定する。 ○目的や話題の共有化を図り、他者との「ずれ」を認識することで、多様な考え方や感じ方に出合うことができるように言語活動の充実を図る。 ○「深い学び」を明確化する。道徳的価値を視点に自分自身の具体的な経験やそれに関連する考え方や感じ方を想起し、道徳的価値のよさや課題をつかむことができるような学習を設定する。 				

都道府県名	30 兵庫	学校名	神戸市立妙法寺小学校	校長名	中山 紀彦
学校所在地	〒654-0121 兵庫県神戸市須磨区妙法寺桜界地106-1			電話番号	078-741-2559
最寄り駅	神戸市営地下鉄線 妙法寺駅より (徒歩 10分)			FAX番号	078-741-6368
指定の種類	区立小教委	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成30年10月16日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かなかかわりを通して、共によりよい生き方を求める子供の育成				
研究の概要	<p>「発達段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を、一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、向き合う『考え、議論する道徳』への転換を図る」ことを目指し、道徳科の授業の質的改善への取組を進めてきた。最終の研究発表の場として、1年生の教材「けいじぼんのらくがき」(廣済堂あかつき)を用いた神戸市小学校教育研究会の道徳部として授業研究会を行った。</p>				

都道府県名	30 兵庫	学校名	南あわじ市立 西淡志知小学校	校長名	山下 百合香
学校所在地	〒656-0326 兵庫県南あわじ市志知南16番地			電話番号	0799-36-3555
最寄り駅				FAX番号	0799-36-5770
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月16日
研究テーマ (サブテーマ)	対話を通して 児童生徒とともに考える 道徳授業をめざして				
研究の概要	西淡中学校区の小中学校(5校)が、「道徳科(道徳の時間)の授業の充実」「実践的な授業力の向上」に焦点を絞り、①教材の構造化・分析的確に行うための資料の読み方の習得 ②児童生徒が新たな発見や学びが実現できるような発問の工夫・検討 ③発言の傾聴と深い学びにつなげる問い返しによる対話の充実 ④評価に向けて児童生徒の学習状況や成長を見取るための工夫 の4つの視点に基づいて研究授業を行うなど、連携した取組を行った。				

都道府県名	30 兵庫	学校名	尼崎市立 名和小学校	校長名	多田 弘
学校所在地	〒659-0021 兵庫県尼崎市名神町3-1-51			電話番号	06-6428-0114
最寄り駅	阪神電鉄 尼崎駅 (バス 10分)			FAX番号	06-6428-0116
指定の種類	兵庫県小学校 教育研究部会 阪神地区研究 大会	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年12月7日
研究テーマ (サブテーマ)	自己の生き方についての考えを深め、共によりよく生きる児童を育む道徳教育				
研究の概要	<p>○研究の柱</p> <p>① これまでの「道徳教育」の課題を克服 ②「特別の教科 道徳」の指導内容の充実・改善 ③「主体的・対話的で深い学び」を取り入れ、「考え、議論する道徳」を実現</p> <p>○授業研究と実践</p> <p>研究の柱①②③をふまえた授業づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習や体験的な学習の充実 ・道徳的価値のとらえ方…多面的、多角的にとらえた深い学び ・発問の工夫…①基本発問 ②中心発問 ③テーマ発問 等 ・授業づくりシートの活用 ・「成長を喜び実感する」評価 評価の道筋 個人内評価 <p>特に本年度は、教科書を中心に資料読みの授業づくりと実践を重点的に研究する。</p>				

都道府県名	30 兵庫	学校名	福崎町立 高岡小学校	校長名	木村 保則
学校所在地	〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡1825-1			電話番号	0790(22)1113
最寄り駅	JR播但線 福崎 駅 (20分)			FAX番号	0790(22)7685
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月1日
研究テーマ (サブテーマ)	<p>いいたい ききたい かんがえたい だから たのしい</p> <p>『特別の教科 道徳』</p> <p>- 教材分析シートの活用と多様で効果的な指導方法の導入 -</p>				
研究の概要	隣接の中学校と小中連携し、取組を推進してきた。講師を招聘し、校内研修会を昨年度4回、本年度は5回実施した。教材分析シートの活用、対話による授業展開、児童の意見を受容し、問い返し、より深い価値に迫っていく授業の構築に取り組んだ。そして、授業者が内容項目の理解を深めることの大切さや基本発問、中心発問、補助発問の捉え方についても研究を積み上げた。また、評価に対応するために『振り返りシート』についても検討を重ねた。				

都道府県名	30 兵庫	学校名	加古川市立別府小学校	校長名	長谷川 和志
学校所在地	〒675-0133 兵庫県加古川市別府町西町1番地			電話番号	079435-1719
最寄り駅	山陽電鉄 別府駅 (徒歩 15分)			FAX番号	079435-1650
指定の種類	都道府県教委 区町村教委	研究期間	平成 28年度～30年度 3年間	研究発表日	平成30年11月22日
研究テーマ (サブテーマ)	主体的に考え、よりよく生きようとするべふっ子の育成 ～道徳的価値に照らしながら対話で深める道徳科の授業づくりと評価の在り方～				
研究の概要	研究主題に迫る授業づくりとして、鍵となる視点(主体的な学び、対話的な学び、深い学び)を設定し、その視点と評価を位置づけた別府小式指導案に基づき、多様な指導方法等を生かして授業実践を行った。学期末には本校独自の「道徳ポートフォリオ」を生かした「大きくくりな振り返り授業」を全学級が取り組んだ。評価にあたり、授業での評価の視点(①一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか。②自分自身の関わりの中で深めているか。)を設定し、道徳ノート、振り返りワークシートを活用したポートフォリオ評価や聞き取り、授業記録や板書記録等を活用したエピソード評価を主として「見取りから記述へ」の研究を行った。				

都道府県名	31 奈良	学校名	奈良市立三碓小学校	校長名	平尾 眞実
学校所在地	〒631-0046 奈良市西千代ヶ丘一丁目20-9			電話番号	0742-47-1546
最寄り駅	近鉄奈良線 学園前駅 (バス12分 バス停より徒歩10分)			FAX番号	0742-47-3079
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成 30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成31年11月14日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を持ち、よりよく生きる力を育てる道徳科の授業をめざして ～考え、議論する授業の工夫～				
研究の概要	今年度は『豊かな心を持ち、よりよく生きる力を育てる道徳科の授業をめざして』～考え、議論する授業の工夫～を研究主題に設定し、取り組むことにした。道徳教育推進教員を中心とした推進体制づくり、学校としての実態と課題を踏まえた全体計画の作成、学校や地域の特色を生かした主題の配列と年間指導計画の見直し、授業者自身が子どもたちに考えさせたい道徳的価値を明らかにした授業づくり、そこから見えてくる子どもの姿と評価について研修を重ね、「考え議論する道徳」の実現を図る。				

都道府県名	32 和歌山県	学校名	紀の川市立調月小学校	校長名	福本 毅
学校所在地	〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月1101			電話番号	0736-66-0595
最寄り駅	和歌山線下井坂駅 (徒歩30分)			FAX番号	0736-66-2431
指定の種類	都道府県教委 区町村教委	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成31年1月25日
研究テーマ (サブテーマ)	「考え、議論する」道徳科の授業づくり (発問や指導方法の工夫改善を中心として)				
研究の概要	<p>(1) 「特別の教科 道徳」の趣旨・内容を踏まえた指導方法の工夫・改善及び評価のあり方</p> <p>(2) 和歌山県道徳読み物資料集「心のとびら」及び文部科学省「私たちの道徳」を活用した「特別の教科 道徳」の授業の質の向上</p> <p>(3) 地域の特性を生かした「特別の教科 道徳」の工夫改善</p> <p>(4) 道徳教育全体計画等の見直し及び道徳教育の充実に向けた全校的な指導体制の構築</p> <p>以上の内容について、研究を深める。</p>				

都道府県名	32 和歌山県	学校名	和歌山市立松江小学校	校長名	石本 倫章
学校所在地	〒640-8425 和歌山市松江北4丁目1-1			電話番号	073-451-4159
最寄り駅	南海加太線 中松江駅 (徒歩5分)			FAX番号	073-451-4154
指定の種類	区中教委	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成30年 10月24日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心と生きる力をはぐくむ道德教育 ～いきいきとかがやく子どもをめざして～				
研究の概要	本校では、子ども一人ひとりの実態把握に努め、特別な教科道德の時間の充実を図っています。その上で、道德科の授業を核として、総合的な学習の時間や体験的な活動・他教科・他領域との関連を図りながら全教育活動を通して研究を進めています。				

都道府県名	32 和歌山県	学校名	和歌山市立岡崎小学校	校長名	岩本 浩志
学校所在地	〒640-8311 和歌山市寺内426			電話番号	073-471-1750
最寄り駅	貴志川線 岡崎駅			FAX番号	073-471-8900
指定の種類	区中教委	研究期間	平成30年度～31年度2年間	研究発表日	平成30年 11月21日
研究テーマ (サブテーマ)	「豊かな心をもち、よりよく生きようとする子どもを育てる道德教育」 ～主体的・対話的で深い学びを得る授業の展開をめざして～				
研究の概要	<p>道德の授業において、「道徳的な判断力」の育成を重要視することや、児童の学習意欲を更に向上させることを課題とし、「考え、議論する」道德授業をめざすことで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、本校における課題解決につなげることができると考え、主に5点について研究を行い、学校全体の体系的な取組を進める。</p> <p>①焦点化した総合単元的な学習計画について</p> <p>②道徳オリエンテーションについて</p> <p>③多様な学習展開について</p> <p>ア 読み物教材の登場人物での自家関与が中心の学習</p> <p>イ 問題解決的な学習</p> <p>ウ 道徳的行為に関する体験的な学習</p> <p>④学習のあしあとについて（道徳ノートの活用）</p> <p>⑤評価について</p>				

都道府県名	33 鳥取	学校名	鳥取市立 津ノ井小学校	校長名	米井 誠
学校所在地	〒689-1104 鳥取市桂木238番地1			電話番号	(0857)51-8136
最寄り駅	因美線 津ノ井駅 (3分)			FAX番号	(0857)53-0185
指定の種類	区中教委	研究期間	平成30年度1年間	研究発表日	
研究テーマ (サブテーマ)	心豊かに生きる、やさしくたくましい津ノ井っ子の育成 ～主体的・対話的で深い学びを展開する道德授業の工夫～				
研究の概要	<p>研究の柱は以下の二点である。</p> <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開する授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考え議論する道德」についての外部講師を招聘しながら研究授業に取り組む。 <p>(2) 児童の成長を願う評価のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、道徳ノートを授業と関連しながら活用し、その中で学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取っていく。 				

都道府県名	33 鳥取	学校名	鳥取市立 河原第一小学校	校長名	氏橋 俊司
学校所在地	〒680-1221 鳥取県鳥取市河原町渡一木179-1			電話番号	085885-0550
最寄り駅	JR因美線 河原駅 (徒歩 40分)			FAX番号	085885-0301
指定の種類	都道府県教委 区町村教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	指定発表会として開催しないが 市小教研での発表会を行う。
研究テーマ (サブテーマ)	絆を深め かがやく河一の子どもたち (自己を見つめ直し、考えを深める道徳学習)				
研究の概要	素直で優しさ溢れる本校児童を見つめると、規則を大事にしたり物事を主体的に判断したり、責任を持って行動したりすることを苦手としていた。そこで、平成29年度より道徳科の研究を始め、主発問の吟味や効果的な板書計画等の指導法の工夫・改善に取り組んでいる。また、児童の道徳性を高め育むにあたり、学校行事や児童会活動などの内容を再度見直すとともに、全体計画や別葉の修正を加え、授業や内容項目との関連を図るようにしてきた。				

都道府県名	34 島根	学校名	雲南市立 加茂小学校	校長名	恩田 仁志
学校所在地	〒699-1106 雲南市加茂町加茂中1031			電話番号	0854-49-7038
最寄り駅	JR木次線 加茂中駅 (徒歩 5分)			FAX番号	0854-49-7995
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度～31年度 3年間	研究発表日	平成31年10月30日
研究テーマ (サブテーマ)	自分の考えをもち、響き合い、高め合う子どもの育成				
研究の概要	近隣の加茂こども園ならびに進学先の加茂中学校とともに、重点的に育てていきたい事項を検討し、全体を貫く計画を共有するとともに、本校の全体計画をたて研究を進めている。道徳以外の教育活動との関連を図りながら、研究の中心を特別の教科道徳の授業における学習活動のありかたにおき、授業研究を重ねている。その際、道徳ノートの活用の在り方についても検討している。				

都道府県名	35 岡山	学校名	真庭市立 河内小学校	校長名	加藤 修
学校所在地	〒719-3124 真庭市中河内2119-1			電話番号	0867-55-2640
最寄り駅	JR姫新線 美作追分駅 (徒歩 30分)			FAX番号	0867-55-7228
指定の種類	岡山県小学校 教育研究会道 徳部会の指定	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成31年11月22日
研究テーマ (サブテーマ)	自己の生き方を豊かにする道徳の学習 (考え議論する道徳の授業づくりをめざして)				
研究の概要	道徳の授業では、子どもがいろいろな考えの友だちと協働的に話し合ったり、魅力的な教材の中でいろいろな生き方に触れたりしながら多様性を尊重して、自分の道徳性を高めていくことが求められている。課題意識を児童自身のものにし、人間理解・他者理解に迫ることができる活動をしたりして、子どもも主体で、子ども自身がつないでいける道徳の学習をしていきたい。				

都道府県名	36 広島	学校名	庄原市立 西城小学校	校長名	渡部 要
学校所在地	〒729-5731 広島県庄原市西城町西城281-1			電話番号	0824-82-2935
最寄り駅	JR芸備線 備後西城駅 (徒歩 10分)			FAX番号	0824-82-2966
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成 29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月25日
研究テーマ (サブテーマ)	ふるさとの学びを生かし、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う児童の育成 ～西城の「ひと」「こと」「もの」を生かした道徳教育の創造～				
研究の概要	平成30年度重点目標を「個性の伸長」「親切・思いやり」と定め、地域連携・協力を伴う体験活動との関連を図る授業に取り組み、人とかかわりを通して相互評価し自己有用感を育てる取組を推進する。そのために、児童が共感する力や思いやりの心協力し合う態度を養うとともに、集団や社会の一員としての自覚と責任を持ち、人間としての在り方、生き方の自覚を深めるために、主体的に考え議論する「特別の教科道徳」の在り方について実践研究を行う。				

都道府県名	36 広島	学校名	熊野町立 熊野第三小学校	校長名	平岡 弘資
学校所在地	〒731-4227 広島県安芸郡熊野町貴船15-1			電話番号	082-854-0316
最寄り駅	呉線 矢野駅 (バス 15分)			FAX番号	082-855-2483
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成30年度～30年度 1年間	研究発表日	平成30年12月6日
研究テーマ (サブテーマ)	「自己を見つめ、よりよい人間関係を築こうとする児童の育成」 ～道徳的価値を深める対話や振り返りを通して～				
研究の概要	<p>研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 協働的に議論し考えを伝え合うことで、自他のよさを理解し合う道徳科の指導方法の工夫 (2) 「振り返り」を生かし、主体的に学ぶための指導の工夫 (3) 体験活動と道徳科の学びをつなげ、効果的に道徳性を養うためのカリキュラム・マネジメント (4) 道徳ノート等を活用したポートフォリオによる評価 <p>研究計画</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童自らが道徳的価値の理解を深めることができるような主体的な学びにつながる道徳科の授業づくり (2) 教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進 (3) 道徳ノートの効果的な活用 				

都道府県名	36 広島	学校名	世羅町立せらひがし小学校	校長名	延安 浩
学校所在地	〒729-3302広島県世羅郡世羅町川尻1987番地2			電話番号	0847-22-1367
最寄り駅	JR山陽本線 尾道駅 (バス 40分)			FAX番号	0847-22-3076
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成 29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月18日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成 ～“かかわり”の中でより深める道徳科の指導と評価の工夫を通して～				
研究の概要	<p>【研究仮設】</p> <p>教材、人、自分との“かかわり”を大切にされた道徳科の授業を行ったり、自らの生活や考えを見つめさせるためのふり返し活動を行ったりすれば、自己を見つめ、よりよく生きようとする児童を育成することができるだろう。</p> <p>【研究内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 主体的な学びを促す効果的な「話し合い」の工夫 <ol style="list-style-type: none"> ①教材、人、自分との“かかわり”を大切にされた指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・考えの違いを表現したいと思えるような深める発問の工夫 ・ペア・グループトークを充実させ、児童がともに語り合い、話し合う活動となる工夫 ・明確な視点を示し、自分を見つめながらの振り返りの工夫 ②問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れた指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えてみたい、深めたいと思える必然性のある課題の工夫 ・道徳的行為に関する体験的な学習、疑似体験的な表現活動の工夫 (2) 道徳科を要とした「自分のよさや成長が実感できる活動」の充実 				

<p>①年間を見通した道徳学習プログラムの改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態を踏まえ、学期ごとに「重点指導項目」と「自分のよさや成長が実感できる活動」を位置付けた道徳学習プログラムの工夫 ・道徳科の授業における振り返り、毎月末の振り返りの継続的な実施とその活用をする。 <p>②自己肯定感を高め、共感的人間関係の育成の場の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いいところ見つけ」を帰りの会や学級活動で継続的に行う。 ・生徒指導の重点目標を絡めた取り組みをする。 <p>(3)道徳科の趣旨を踏まえたポートフォリオ等による評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ①妥当性・信頼性のある評価とするため、特に方法・蓄積する資料・視点・記述による表現について継続的な研修の実施 ② 児童の学習状況及び成長の様子を個人内評価として見取り、評価するための工夫

都道府県名	36 広島	学校名	広島市立山本小学校	校長名	阪井 佳子
学校所在地	〒731-0137 広島市安佐南区山本三丁目1-13			電話番号	082-874-0136
最寄り駅	JR可部線 下祇園駅 (徒歩 10分)			FAX番号	082-874-3785
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成30年12月26日
研究テーマ (サブテーマ)	主体的・対話的で深い学びの姿を求めて ～「考え、議論する道徳」の授業づくりを通して～				
研究の概要	<p>本校では、「児童一人一人が自分事として真剣に考える主体的な姿」「児童が共に語り合い、多様な考えを伝え合う対話的な姿」「児童が自己の生き方をふり返し、生き方について考えを深める姿」を求めて、学校全体で「考え、議論する道徳」の授業づくりに取り組んでいます。</p> <p>ねらいを明確にすること、子どもの中に必然性のある問いを立てること、友達の方を見て考えを伝え合う学級集団づくりに焦点をあて、子どもたち自身が納得解をつかむ授業を目指し、学校全体で研究・実践を重ねています。</p>				

都道府県名	36 広島	学校名	尾道市立因北小学校	校長名	茗加 幸代
学校所在地	〒722-2211 広島県尾道市因島中庄町3322			電話番号	(0845)24-0023
最寄り駅				FAX番号	(0845)24-2025
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成 29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月19日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、自己の生き方について考える主体的な学びの創造 (カリキュラム・マネジメントを活かした道徳教育の推進を通して)				
研究の概要	<p>(1)カリキュラム・マネジメントを活かした道徳教育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「パッケージ型ユニット道徳」の導入 <p>各学年段階で重点化されている主題に迫るために、内容項目の関連を考慮し指導の順序の効果や、を考えて、いくつかの内容項目を合わせた小単元(ユニット)を組んだ指導の推進。</p> <p>(2)主体的な学びができる道徳科の授業実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「議論する」ことの充実を意識した授業改善を図る。 ○「因北小授業スタイル」を児童に意識付け、児童が活用できる授業の構築。 ○「道徳ノート」を生かした評価の仕方を確立する。 				

都道府県名	37 山口	学校名	萩市立 育英小学校	校長名	坂倉 弘道
学校所在地	〒759-3411 山口県萩市大字須佐4373			電話番号	08387-6-2352
最寄り駅	JR山陰本線 須佐駅 (徒歩 5分)			FAX番号	08387-6-2362
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月30日
研究テーマ (サブテーマ)	ふるさとを愛し、思いやりの心を持ち、自ら考え、 よりよく生きようとする児童の育成 ～考えを持ち、交流を通して、生き方について考えを深める道徳授業～				
研究の概要	1 道徳科の授業づくり ○ 思考を深める発問の工夫 ○ 自己を見つめ、生き方について考えを見つめる場の工夫 ○ 構造的な板書の工夫(ネームプレートの活用、心情めもり、表情絵等による思考の深まりの可視化、関係性の明確化) 2 評価方法の工夫 ○ 道徳ノートの効果的な活用 ○ 学習状況可視化シート 3 授業改善 ○ 3シーン授業検討会 ○ 授業改善ポートフォリオ ○ 研修だよりでの成果や課題等の共有 4 環境づくり ○ 道徳コーナーの設置(各教室) ○ 道徳授業の足跡の掲示(各教室) ○ 保護者への道徳だよりの発行				

都道府県名	37 山口	学校名	山陽小野田市立 須恵小学校	校長名	縄手 秀樹
学校所在地	〒756-0817 山口県山陽小野田市5258番地			電話番号	0836-84-5208
最寄り駅	JR小野田線 小野田港駅 (徒歩15分)			FAX番号	0836-83-5368
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月15日
研究テーマ (サブテーマ)	自ら考え、正しく判断し、心豊かに、よりよく生きる子どもの育成 ～他者とのかかわりの中で、自己を見つめる道徳～				
研究の概要	本校は「地域に根ざした道徳教育を展開するために、各地域で指定をする」という方針に沿って、県西部地域の指定校となっている。 本校では、「特別の教科道徳」を要として、すべての教科・教育活動を通して道徳教育を実践する意識をもって教職員が取り組んでいる。 また、道徳推進会議の推進指導のもと、授業研究部、教材研究部、評価研究部の3部によって、道徳教育を進めている。また、行事や児童会活動、昼休みの遊び方にも道徳性を養う指導や工夫をして、学校の教育活動のすべてにおいて、児童の育成に取り組んでいる。				

都道府県名	38 徳島	学校名	阿波市立 御所小学校	校長名	吉川 和則
学校所在地	〒771-1508 徳島県阿波市土成町宮川内字広坪89番地			電話番号	088-695-2004
最寄り駅	JR四国鴨島駅 (タクシー15分)			FAX番号	088-695-2138
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度～ 1年間	研究発表日	平成32年5月日
研究テーマ (サブテーマ)	ふるさとへの愛着と誇りをもって、他者とともにによりよく生きようとする児童の育成				
研究の概要	本校は、地域の風土に根ざした文化や伝統について、地域の関係団体やボランティア組織の支援を受けて、児童が体験的に学ぶ機会をいただき、他者とのかかわりも充実している。それは、地域の方の「子どもたちに地域のよさを知り愛着を深めてほしい」という願いに裏打ちされたものである。昨年度末に、4年生から6年生の児童にアンケートを実施したところ、「ふるさと御所が好き」と回答した児童は100%であった。 恒例となっている一連の体験活動は、道徳教育を進める上で間違いなく意味のあるものであるが、道徳の授業と有機的に関連させて行われているとはいえない。そこで、道徳教育の内容項目と関連づけて、それぞれの活動に含まれるねらいを明らかにするとともに、体験活動を生かした授業のあり方について、年間指導計画の整備を図りたい。また、特別の教科「道徳」の授業を充実させることにより、他者とともにによりよく生きていこうとする児童を育てたいと考え、本主題を設定した。				

都道府県名	38 徳島	学校名	北島町立 北島北小学校	校長名	藤島 則之
学校所在地	〒771-0201 徳島県板野郡北島町北村字壱町四反地20-1			電話番号	088-698-2010
最寄り駅	JR高德線 勝瑞駅 (バス 30分)			FAX番号	088-698-1011
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度～31年度 2年間	研究発表日	平成31年11月予定
研究テーマ (サブテーマ)	語り合い深め合う学びを通して、自己の生き方を考える子供を育てる道徳教育 ～主体的に学び合い、たがいに高め合う子供の育成～				
研究の概要	<p>道徳教育を推進するに当たり、次のような視点で研究を進めていきたい。</p> <p>(1) 自己をみつめ、生き方についての考えを深める「特別の教科道徳」科の授業づくり</p> <p>① 「考え、議論する道徳」の授業展開のために次の3点について研究する。</p> <p>ア. 発問 イ. 話し合い ウ. 板書</p> <p>② 道徳性を養うための効果的な評価の在り方について、次の2点について研究する。</p> <p>ア. 見取りや記録 イ. 道徳ノートの有効な活用</p> <p>(2) 学校教育全体で取り組む道徳教育の充実</p> <p>① 道徳科の授業と各教科等、体験活動等との関連及び家庭や地域社会との連携について次の2点について研究する。</p> <p>ア 道徳科の時間を要とし、学校教育活動全体で行う道徳教育の在り方</p> <p>イ 家庭や地域との連携強化を図った指導の工夫</p>				

都道府県名	39 香川	学校名	高松市立 太田南小学校	校長名	山下 修
学校所在地	〒761-8073 高松市太田下町1823番地1			電話番号	087-865-9395
最寄り駅	ことடன்琴平線 太田駅 (徒歩 13分)			FAX番号	087-865-9388
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月25日
研究テーマ (サブテーマ)	主体的によりよい生き方を探究し、これからの社会を生きる力を育む道徳教育				
研究の概要	平成29・30年度、文部科学省より教育課程研究指定(道徳)を受け、研究テーマのもと、「考え、議論する道徳」を念頭に、質の高い指導方法を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」の視点に対応した道徳授業への改善に取り組んできた。合わせて評価や道徳授業を要とした学校教育全体で取り組む道徳教育についても研究・実践を重ねてきた。				

都道府県名	39 香川	学校名	高松市立 国分寺南部小学校	校長名	安部 徹
学校所在地	〒761-0103 香川県高松市国分寺町福家甲3005番地			電話番号	087-874-1160
最寄り駅	JR予讃線端岡駅下車約3000m国分寺町巡回バス南部小学校前(バス 10分、徒歩 5分)			FAX番号	087-874-1608
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	予定なし
研究テーマ (サブテーマ)	自分も人も大切にし、互いに学び合える児童の育成 ～じっくり聴き、しっかり考え、豊かに関わる集団づくり～				
研究の概要	<p>1 道徳授業の充実のために新しい教科書教材の活用の在り方や道徳の時間の評価に生かす道徳ノートの在り方</p> <p>2 「徳の日」を中心とした社会に開かれた教育課程の充実と地域と連携した学校行事や各教科等との関連、国南スマイル集会に向けた取り組み、縦割り活動の工夫を通して互いの考えを大切にしながら学び合う集団づくりをめざして、研究を深める。</p>				

都道府県名	39 香川	学校名	土庄町立土庄小学校	校長名	石井 昌彦
学校所在地	〒761-4121 香川県小豆郡土庄町湊崎甲2080番地1			電話番号	0879-62-0068
最寄り駅	土庄港線 (徒歩 25分)			FAX番号	0879-62-0086
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成30年度～30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月7日
研究テーマ (サブテーマ)	自他の考え方・感じ方を受けとめ合い、自分を見つめ直す子どもの育成 —主体的によりよく生きようとする心を育む道德教育—				
研究の概要	<p>1 児童が、自分も人も大切にする、自己有用感高める、相手を思いやり、主体的・自主的に課題を解決する、夢や希望をもち意欲的に学ぼうとする姿を目指す。</p> <p>2 研究内容及び方法</p> <p>(1) 道德の時間の充実</p> <p>① 各教科、特別活動、その他の教育活動と関連をもたせた道德授業の単元化</p> <p>② 自分の考えを表出できる表現・交流活動</p> <p>③ 実生活とつなぐ授業の展開</p> <p>④ 評価につながる道德ノート等の有効活用</p> <p>(2) 全教育活動を通して育む豊かな心</p> <p>① 学級活動の充実 (話し合い活動、意図的・計画的なSSTや「よいところ見つけ」など)</p> <p>② 行事を通して道德性を高める</p> <p>③ 児童会活動の充実 (委員会、たてわり班活動等)</p> <p>③ アセスメントによる見取りを生かした生徒指導</p>				

都道府県名	40 愛媛	学校名	大洲市立大洲小学校	校長名	松田 千壽
学校所在地	〒795-0012 愛媛県大洲市大洲711			電話番号	0893-24-2532
最寄り駅				FAX番号	0893-24-2617
指定の種類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成 29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月30日
研究テーマ (サブテーマ)	主体的に自己を見つめ、「良知」に生きようとする児童の育成				
研究の概要	<p>1 道德科の授業改善</p> <p>(1) 教材分析による道德的価値の明確化</p> <p>(2) 子どもの主体的な学びを促す工夫</p> <p>(3) 多様な価値観に触れるための指導方法の工夫</p> <p>(4) よさを伸ばし、成長につながる評価の工夫</p> <p>2 中江藤樹の教えや生き方と関連させた道德教育</p> <p>3 心を育てる体験活動の充実</p> <p>4 道德性を育む校内環境づくり</p> <p>5 家庭や地域等との連携</p>				

都道府県名	40 愛媛	学校名	東温市立川上小学校	校長名	客野 英司
学校所在地	〒791-0303 愛媛県東温市北方甲2655番地			電話番号	089-966-2021
最寄り駅	伊予鉄横河原線 横河原駅 (バス 10分)			FAX番号	089-960-6099
指定の種類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月19日
研究テーマ (サブテーマ)	自分の考えを表現し、ともに学び合う児童の育成 (考え、議論する道德科をめざして)				
研究の概要	<p>(1) 学校の教育課題を踏まえた道德教育の内容の重点化</p> <p>ア 道德科の評価を生かした道德教育全体計画・年間指導計画・別葉の見直しと活用</p> <p>イ 学校全体で取り組む組織的、計画的な評価の在り方の研究と実践</p> <p>(2) 道德科の指導の充実</p> <p>ア 心に響く教材研究</p> <p>イ 学び合いを深める指導法研究</p> <p>ウ 一人一人のよさを伸ばす評価研究</p> <p>(3) 家庭・地域との協働体制の充実</p> <p>ア 道德性を育てる体験活動の充実</p> <p>イ 豊かな心を育てる環境づくり</p> <p>ウ 家庭や地域への効果的な情報発信、啓発運動</p>				

都道府県名	40 愛媛	学校名	新居浜市立高津小学校	校長名	荒井 正隆
学校所在地	〒792-0866 愛媛県新居浜市宇高町2丁目13番7号			電話番号	0897-37-3754
最寄り駅	JR予讃線 新居浜駅 (車で10分)			FAX番号	0897-37-3854
指定の種類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月14日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心と確かな学力を身に付け、よりよく生きようとする児童の育成 —みんなで考え、議論する授業を目指して—				
研究の概要	1 道徳性を養うための学校体制づくり 2 道徳科の授業における指導力の向上 (1) みんなで考え、議論する授業を実現させるための指導の工夫 ア 自己を見つめ、考えをもたせるための工夫 イ 考えを広げ深めるための教師の関わり方の工夫 ウ 未来へのヒントを実感させるための工夫 (2) 学びのスタイルを意識した授業研究の実践 3 学びを支える「聞いて、考え、伝え合う」力の育成 (1) 学習習慣の定着及び充実 (2) 関わりを大切にする学級づくりの推進 ア つながりを深める体験の推進 イ 道徳性を育む「見える」環境 4 家庭、地域の協力による道徳教育の充実				

都道府県名	41 高知	学校名	津野町立葉山小学校	校長名	安岡 幸子
学校所在地	〒785-0202 高知県高岡郡津野町姫野々503-1			電話番号	0889-55-2020
最寄り駅	JR大間駅 (駅から車で15分)			FAX番号	0889-40-1351
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度～32年度 3年間	研究発表日	平成32年 月日は未定
研究テーマ (サブテーマ)	道徳科の趣旨を踏まえた指導方法・評価の在り方に関する実践研究により、 児童一人一人の道徳性の向上をめざした道徳教育の推進 ～主体的に考え、議論する道徳の授業づくりをめざして～				
研究の概要	(1) 道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実 ・道徳推進委員会が各学年の進捗状況を確認(学期に1回以上)。 ・各学年の年間指導計画、別様に基づく取組の検証。 ・管理職、道徳推進教師は、全学級の道徳授業を参観。 (2) 「考え、議論する」道徳の授業づくり ・全道徳授業を公開とし、道徳授業チェックシート(5点満点)を3.5以上にする。 ・全公開授業研においては、広く案内をして、授業についての意見をもらう。 ・思考ツールの活用など、学びの深まりが分かる板書の工夫をする。 (3) 道徳科の趣旨を踏まえた評価の在り方に関する研究 ・認め、励ます評価について評価の仕方を共有する。(学期に1回) ・通知表に記載するための個人データを一人につき3つ以上は保存していき評価に活用する。 (4) 家庭・地域と連携を図った道徳教育の実践研究 ・地域のコーディネーターを中心に、家庭・地域に呼びかけ、道徳授業についての参加率を上げていく。 ・家庭で考える保護者向け冊子「高知の道徳」を活用して、保護者・地域の方に発信する。				

都道府県名	41 高知	学校名	南国市立岡豊小学校	校長名	島内 祥夫
学校所在地	〒783-0044 高知県南国市岡豊町八幡903			電話番号	088-862-0044
最寄り駅	JR土讃線 後免駅 (車で約10分)			FAX番号	088-862-0104
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度～32年度 3年間	研究発表日	平成32年10月30日
研究テーマ (サブテーマ)	誠実に価値と向き合い、道徳としての問題を考え、実践する子どもの育成 —道徳科の時間の指導と評価の質的充実と地域と協働する道徳的な実践活動を通して—				
研究の概要	(1) 道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実に関する実践研究 ・道徳教育の全体計画の充実 ・道徳科の年間指導計画の充実 ・道徳科を要としたカリキュラム・マネジメントの実践 (2) 道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業実践の研究 ・道徳科の特質を踏まえた指導の在り方の研究 ・児童が自己と対話し、内省を深める指導の在り方の研究 ・問題解決的な学習、体験的な学習など多様な指導方法の研究 ・道徳科の指導における合理的配慮の在り方の研究 (3) 道徳科の趣旨を踏まえた評価の在り方に関する研究及び組織的・計画的な評価の推進 ・児童観察及び言語分析による道徳性の評価の研究 ・道徳科の授業に対する評価の研究 (4) 家庭・地域と連携を図った道徳教育の実践研究 ・改訂版「高知の道徳」の効果的な活用方法等についての取組 ・学校運営協議会等を核とした道徳教育振興についての取組 ・家庭・地域と共に行う「いじめ0」を目指した取組 ・家庭・地域と共に行う道徳的実践の取組				

都道府県名	41 高知	学校名	香美市立舟入小学校	校長名	明石 芳文
学校所在地	〒782-0016 高知県香美市土佐山田町山田1218		電話番号	0887-53-3216	
最寄り駅	JR土讃線 土佐山田駅(車で約10分)		FAX番号	0887-57-0215	
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度～32年度 3年間	研究発表日	平成32年度(月日は未定)
研究テーマ (サブテーマ)	自分が好き、友達が好き、舟入が好きな児童の育成 ～教材や人との対話を通して、よりよい見方や考え方を育てる～				
研究の概要	<p>【指導計画の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究推進部会、道徳運営部会をもって、研究体制の改善及び進捗管理。(毎月2回以上) 管理職及び道徳教育推進教師並び道徳推進リーダーが、毎週、全学級の道徳科の授業づくり及び授業参観。 <p>【授業の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳授業チェックシート(全教師、全児童)の結果野活用。 道徳ノートを活用した個人内評価に係る協議・授業改善策の検討。 教具の作成・活用、学習指導案、板書写真等の整理・保管。 ペア対話や思考ツールを活用した話し合い活動及び動作化、役割演技など表現活動の工夫についての検証と授業改善。 <p>【評価の研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳ノートや授業評価を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、各担任と推進教師で共有。 評価の仕方を校内で共有→評価の実施及び通知表の記入→指導要録の記入→通知表及び指導要録の改善策を練り次年度につなぐ。 <p>【家庭や地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校だより、学級だより、道徳だより、HP等による推進活動。 道徳参観日への参加呼びかけと取組を道徳だより、HP等で発信。 保護者参観アンケートの実施・取りまとめ・分析、結果の発信。 道徳の授業の様子や笑顔の花束(全校いい所みつけ)や縦割り班活動、総合的な学習の時間における体験活動等、全教育活動における児童の道徳的実践の紹介。 学校関係機関へ学校だより、道徳だよりを配布する。(毎月1回) 授業後の家庭学習として「高知の道徳」を活用。 コミュニティ・スクールと連携を図り、道徳教育を推進する部会において参加型授業や道徳に関する読書活動を実施。 				

都道府県名	42 福岡	学校名	鞍手町立新延小学校	校長名	深田 真二
学校所在地	〒811-1305福岡県鞍手郡鞍手町新延1511番地		電話番号	0949-42-0215	
最寄り駅	福北ゆたか線 鞍手駅 (バス 20分)		FAX番号	0949-42-8393	
指定の種類		研究期間		研究発表日	30年 10月24日(水)
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心をはぐくむ道徳教育の創造 ～「特別の教科 道徳」における指導方法の工夫を通して～				
研究の概要	<p>主題を「豊かな心をはぐくむ道徳教育の創造」、副主題を「『特別の教科 道徳』における指導方法の工夫を通して」とし、研究を進めています。</p> <p>本年度の研究は、道徳科の特質を踏まえ、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①道徳的価値についての問題を自分のこととして受け止め、問題意識をもたせる導入の工夫 ②物事を多面的・多角的に考え、自分なりに気づき、価値の主體的自覚を促す展開の工夫 ③自己の生き方についての考えを深めるための終末の工夫 <p>という3つの視点を大切に授業づくりに取り組むことによって、道徳教育の充実をめざそうとしました。</p>				

都道府県名	42 福岡	学校名	筑後市立水洗小学校	校長名	加藤 英也
学校所在地	〒 833-0017 筑後市大字志13			電話番号	0942-53-3264
最寄り駅	JR鹿児島本線 筑後船小屋駅 (徒歩 15 分)			FAX番号	0942-51-1333
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度～30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月21日
研究テーマ (サブテーマ)	「道徳的な見方や考え方を深める道徳教育」 ～対話活動を通して～				
研究の概要	本研究は、道徳教育推進事業の一環として、県の道徳教育の課題に応じた市町村による実践的研究に指定されたものです。①児童生徒が問題意識をもち、主体的に考え、話し合うための指導方法の工夫、②読み物教材の登場人物への自我関与を中心とした指導の工夫の2つの課題を究明する授業を公開します。各段階に対話活動を位置づけ、教材の扱い方を工夫することで、多面的・多角的に考え、自己を見つめ、生き方についての考えを深めていきます。				

都道府県名	42 福岡	学校名	北九州市立浅川小学校	校長名	大竹 ひとみ
学校所在地	〒807-0879 北九州市八幡西区浅川町10番1号			電話番号	093-691-1681
最寄り駅	鹿児島本線 折尾駅 (バス10分)			FAX番号	093-691-1688
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成29年度～31年度 3年間	研究発表日	平成30年10月2日(火)
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を育む道徳教育の創造 ～主体的・対話的で深い学びを目指した道徳科授業の創造～				
研究の概要	「教科等コアスクール事業(道徳)」の市の指定を受け、道徳教育の核となる学校として研究を推進している。上記の研究テーマ及びサブテーマを設定し、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れる等、指導方法の工夫を図る研究を推進している。サブテーマ「主体的・対話的で深い学びのある道徳授業」とは、問題意識を明確にもち、自分の心と向き合い、友達の考えに触れ、真剣に考え・議論し合う指導方法の工夫を行うことにより、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」授業であると考え。研究の2年次に当たる本年度は、主体的な学びの実現に向け、問題意識をもたせる授業に視点を当て、研究実践を行うこととした。子ども自身が問題意識をもつことによる ① 意欲的に考え、主体的に話し合うことができるようになる ② 子どもが自分事として考えを深めることができるようになる と考え、発問や話し合い活動の工夫等の授業改善に努めている。授業公開当日は文部科学省教科調査官浅見哲也様に、「『特別の教科道徳』の指導と評価の在り方」と題してご講演していただいた。今後も、主体的対話的で深い学びのある道徳科授業を目指していきたいと考える。				

都道府県名	43 佐賀	学校名	太良町立多良小学校	校長名	中島 哲徳
学校所在地	〒849-1602佐賀県藤津郡太良町大字多良1264番地			電話番号	0954-67-0044
最寄り駅	長崎本線 肥前太良駅 (徒歩 7分)			FAX番号	0954-67-2169
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月16日
研究テーマ (サブテーマ)	家庭・地域・小中の連携を通した道徳教育の研究 小学校テーマ とともに認め合い、関わり合う心豊かな児童の育成 ～互いの思いを伝え合う授業づくりと支え合う仲間づくりを通して～				
研究の概要	自らが学ぶ意思や意欲をもち、未来への夢や目標を抱き、自らを律しつつ、自己責任を果たすことができる児童の育成を目指す。また、自分の利益だけでなく社会や公共のために何をなし得るかを考える豊かな心も育みたい。そのために、「考え、議論する道徳」の授業づくりはもちろん、他教科との関連や中学校や家庭、地域との連携を強めることで、人と関わることの大切さに気づかせ、思いやりのある生き方をしようとする実践意欲を高めていく。				

都道府県名	43 佐賀	学校名	佐賀市立東与賀小学校	校長名	梶原 紳一	
学校所在地	〒840-2222 佐賀市東与賀町大字田中453番地			電話番号	0952-45-0321	
最寄り駅	JR長崎 線 佐賀 駅 (バス 20分)			FAX番号	0952-45-8718	
指定の種類		研究期間	※ 今年度は指定なし		研究発表日	今年度はなし
研究テーマ (サブテーマ)	自他を理解し、あたたかく人とつながる児童の育成 ～「特別の教科 道徳」における指導と評価の一体化を求めて～					
研究の概要	研究の内容	研究の方法		目指す姿		
	「特別の教科 道徳」への対応	教科書に対応した年間指導計画および別様を作成する。新しい指導資料に関しては場面絵、ワークシート等の指導資料を作成する。 評価の仕方および記載について講師を招聘し、指導・助言を受ける。指導要領、通知表等への記載の検討、実施を行う。		教科書に対応した年間指導計画、別様を他教科との関連、行事等を考慮し、作成する。それにより、行事等の道徳的価値を明確にした指導を計画的に行う。 グループ研究、全体研究を行い、それぞれ公開授業および授業研究会を行う。心に響く「道徳の時間」が達成できたか、評価はどのように行うのかを検討し、指導力向上を図る。 小中相互の情報交換やテーマに沿った協議、道徳日より「よかよか通信」の積極的な発行や保護者参加型の授業に取り組むことにより、9年間の縦のつながりや家庭・地域社会との横のつながりを意識した実践を重ねる		
	これまでの研究を継承した授業の充実	他教科等との関連を図った道徳の授業を行う。 道徳の時間の充実（発問、話し合い活動、家庭・地域との連携、資料提示・板書の工夫、終末）を意識した授業を展開する。				
	日常活動・体験活動、小中・家庭・地域社会連携の充実	たてわり活動（掃除などの日常活動、遠足や運動会などの行事的活動）の充実を図る。 各行事における道徳的価値の明確化を図る。				

都道府県名	44 長崎	学校名	西海市立 大瀬戸小学校	校長名	小山 義彰
学校所在地	〒857-2302 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2188番地1			電話番号	0959-37-0362
最寄り駅	長崎本線 長崎 駅 (バス 90分)			FAX番号	0959-22-1232
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年11月2日
研究テーマ (サブテーマ)	大瀬戸中学校研究主題 自己を見つめ 協働して学び 未来を拓こうとする生徒の育成 ～「特別の教科 道徳」へ向けた指導方法の工夫と全教育活動を通じた道徳教育の推進を通して～				
研究の概要	本校の校内研究は、研究主題「地域とともにある、願い・あこがれをかなえる学校づくりをめざして」～子どもの学びを支えるコミュニティ・スクールの構築～。地域中学校が研究指定を受け、その協力校として、この2年間「考え議論する道徳授業」を模索してきたところである。				

都道府県名	44 長崎	学校名	平戸市立 大島小学校	校長名	丸田 邦博
学校所在地	〒859-5802 長崎県平戸市大島村前平2749			電話番号	0950-55-2004
最寄り駅	松浦鉄道 線 平戸口 駅			FAX番号	0950-55-2078
指定の種類	区伊市教委	研究期間	平成29年度～30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月20日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を持ち、よりよく生きる大島っ子の育成 ～豊かなかかわりを通して、考え、深め合う「特別の教科 道徳」をめざして～				
研究の概要	<p><研究仮説> 道徳科において、多様な指導方法の工夫と、個の成長を見取る評価の研究を行えば、自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深め、豊かな心を育むことができるであろう。</p> <p><具体的な方策> 視点1 道徳における多様な指導方法の工夫 (教材提示、発問、言語活動、板書、学習指導過程 等) 視点2 個の成長を見取る評価の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科における評価 ・教育活動全体を通して行う道徳教育の評価 				

都道府県名	45 熊本県	学校名	御船小学校	校長名	中野 浩幸
学校所在地	〒861-3205 御船町滝川3番地			電話番号	096-282-0044
最寄り駅	豊肥本線 南熊本駅 (バス45分)			FAX番号	096-281-7803
指定の種類	都道府県教委 区伊市教委	研究期間	平成28年度～29年度 2年間 平成28年度～30年度 3年間	研究発表日	平成31年2月8日
研究テーマ (サブテーマ)	いのち輝き、自他を『つなぐ』道徳教育を目指して (～自己を見つめ、共に考える道徳の授業)				
研究の概要	「いのち輝き、自他を『つなぐ』道徳教育を目指して」を研究主題とし、児童が日常の体験やその時の考え方や感じ方を生かして道徳的価値の理解を深めたり、自己を見つめたりする指導の在り方について研究をしています。				

都道府県名	45 熊本県	学校名	熊本市立砂取小学校	校長名	須藤 聡
学校所在地	〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目1-1			電話番号	096-382-7033
最寄り駅	豊肥線 新水前寺駅 市電(徒歩10分)			FAX番号	096-386-5215
指定の種類	区伊市教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成30年10月19日
研究テーマ (サブテーマ)	「よりよく生きようとする『笑顔あふれる砂取っ子』の育成」 ～自分との関わりで考え、語り合う道徳科の授業と子どものよさを伸ばす評価～				
研究の概要					

都道府県名	46 大分	学校名	杵築市立 山香小学校	校長名	安藤 仁
学校所在地	〒879-1311 大分県杵築市山香町内河野2500-1			電話番号	0977-75-0012
最寄り駅	日豊本線 中山香 駅 (バス・徒歩 10分)			FAX番号	0977-75-0925
指定の種類	区町村教委	研究期間	平成30年度 1年間	研究発表日	平成30年2月26日
研究テーマ (サブテーマ)	考えを出し合い議論する道徳授業をめざして				
研究の概要	これまで実践してきた道徳授業を見直し、「考えを出し合う道徳授業」(道徳的価値を子どもが自分のこととしてとらえる)や「議論する道徳授業」(子どもと教師、子ども同士の対話的な学び)への転換を図り、子どもたちが自己の生き方や人間としての生き方についての考えを深めることができる授業をめざしていきたい。				

都道府県名	48 鹿児島	学校名	志布志市立 通山小学校	校長名	瀬戸 勝之
学校所在地	〒899-7402 鹿児島県志布志市有明町野井倉8304-4			電話番号	099-477-0555
最寄り駅	日南線 志布志 駅 (バス 10分)			FAX番号	099-477-0045
指定の種類	鹿児島県小学校道徳研究会	研究期間		研究発表日	平成30年11月30日
研究テーマ (サブテーマ)	考え、議論する学び合いを通して、自己の生き方について考えを深める道徳科学習の在り				
研究の概要	<p>1 研究の仮説 子ども一人一人が主体的に考え、議論する学び合いの手立てを工夫すれば、子どもたちは自分との関わりで道徳的価値の理解を深め、一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させることができるのではないかと。</p> <p>2 研究の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳科における、子ども一人一人が主体的に考え、議論する学び合い手立ての工夫 <ul style="list-style-type: none"> (1) 授業づくりの視点の明確化 (2) 効果的な指導の工夫 (3) 発問の工夫 (4) 書く時間の設定 (5) 思考の可視化 (6) 交流(対話活動:話し合い)の工夫 ○ 指導と評価の一体化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 2つの視点による評価 (2) ワークシートによる自己評及びポートフォリオ評価 ○ 道徳的実践を支える取組の工夫 <ul style="list-style-type: none"> (1) 家庭・地域との連携 (2) 掲示の工夫 <p>3 研究の成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 成果 研究の実践により、子ども一人一人が自分の考えを、自信をもって発信したり友達が自分の考えや思いを受け止めてくれたりするので、自己肯定感が徐々に高まってきている。 (2) 課題 評価の在り方や蓄積した評価の活用方法、通知表等における評価の伝達についての研究が必要である。 				

都道府県名	49 沖縄	学校名	那覇市立 那覇小学校	校長名	松田 敦子
学校所在地	〒900-0016 那覇市前島1-7-1			電話番号	098-917-3339
最寄り駅				FAX番号	098-917-3353
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成30年度～30年度 1年間	研究発表日	平成30年11月 日
研究テーマ (サブテーマ)	自ら進んで考え、思いやりの心もち、ねばり強く主体的に行動するなはっ子の育成 ～道徳科の授業づくりと評価を通して～				
研究の概要	<p>学校教育目標「知心体夢」をスローガンに昨年度の研究課題をふまえ、価値理解を深め道徳性を育むことができるなはっ子をめざし本研究に取り組んでいる。研究仮説は、道徳科において、児童に気付かせたい考えさせたい「道徳的課題の提示」と明確な指導観をもった授業づくりや評価を実施すれば、児童が自己を見つめ、多面的多角的な考えをもって対話し、道徳的価値の自覚がうまれ相手の気持ちや立場になって考え、親切にしたり優しく行動したりでき、ねばり強さをもったなはっ子が育つであろうとした。</p>				